I施設の概要				\$ S04-03-01			
施設名	石浜ふれあし	八館 マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
所在地	南千住三丁	目28番2号					
部課名	区民生活部區	区民施設課					
佐凯の屋麻	時期	建築費	財源内容(単位:千円)				
施設の履歴	时规	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
建築	平成25年	414, 233					
増改築①							
増改築②							
併設施設							
竣工年月日	平成25年	₹3月12日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成25年	年4月1日	職員数	0			
構造	鉄筋コンク	クリート造	階層 地上4階				
面積	敷地	面積	1, 018. 44 m ²				
四 作	延床	面積	1, 105. 06 m ²				
設置目的・経緯			広い世代の交		舌動を促進		
改自日的 性神	することに。	より心豊かな	地域社会の形	成を図る			
関連部署							
根拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則				
設置条例	荒川区ふれあい館管理運営要綱						
駐車場の状況		「リアフリー	■ エレベータ		れでもトイレ		
駐輪場の状況	30台	対応状況	▲ 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ		





π	答 理	雷坐	$\boldsymbol{\sigma}$	状況
ш	官理	18年末	w	1人 汀.

管理形態	指定管理	株式会社 日本デイケアセンター	期間	平成31年4月1日 から 令和6年3月31日 まで
事業内容	・中高生·成人「 ・貸室事業	また。 エーション事業 向け、世代間交流事業 など		
対象者	一般区民他			
運営時間等	運営時間	午前9時~午後10時		
) 连舌时间守	休日	年末年始		

		14 日 平 2	木午妇				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施 設 基	事業参加	者数(人)	41, 806	33, 422	29, 406	22, 593	37, 056
	貸室利用		6, 281	5, 158	4, 342	1, 265	1, 287
	開館日数	(日)	357	357	358	303	357
本	利用者評	価(%) ※	81	52	51	62	-
デ	指定管理料(千円)		45, 584	45, 861	52, 267	50, 593	53, 559
- 1	指定管理者	当の支出合計(千円)	43, 623	42, 519	45, 887	43, 751	47, 457
タ	指定管理者の人件費(千円)		28, 849	27, 076	28, 746	27, 329	29, 400
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		1, 946	1, 959	2, 473	2, 761	2, 619
用係定	管理費		12, 536	12, 849	14, 058	13, 449	14, 750
等る管	人件費		28, 849	27, 076	28, 746	27, 329	29, 400
費理	修繕費		292	635	610	212	688

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務計	者表						(単	位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>_</i> _		物件費	54, 206	54, 040	▲ 166	∠ 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	0	0	1251000000	127	274	147
政	行	扶助費	0	0	0		0	0	0
コス			0	3	3	↑ 使用料及び手数料	167	57	▲ 110
	費	減価償却費	12, 361	12, 361	0	その他	132	797	665
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	426	1, 128	702
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 66, 141	▲ 65, 276	865
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 1, 989	▲ 1,838	151
		行政費用合計(b)	66, 567	66, 404		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 68, 130	▲ 67, 114	1, 016
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 68, 130	▲ 67, 114	1, 016
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	16, 326	16, 479	153
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	16, 326	16, 479	153
岱		有形固定資産	334, 301	321, 939	▲ 12, 362	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
성	Œ	建物	395, 858	395, 858		固定負債	162, 620	146, 141	▲ 16, 479
昭	固定	建物減価償却累計額	▲ 74, 817	▲ 85, 505	1 0, 688		162, 620	146, 141	▲ 16, 479
夫	資	工作物等	24, 971	24, 971	0		0	0	0
1	産	工作物等減価償却累計額	▲ 11, 711	1 3, 384	▲ 1, 673		0	0	0
	1/1	無形固定資産	0	0		負債の部合計	178, 946	162, 620	▲ 16, 326
		建設仮勘定	0	0		正味財産	155, 355	159, 319	3, 964
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	155, 355	159, 319	3, 964
	資	産の部合計	334, 301	321, 939	▲ 12, 362	負債及び正味財産の部合計	334, 301	321, 939	▲ 12, 362
借									

		指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
		有形固定資産減価償却率(%)	15	18		23. 5	
l e	財	1㎡当たりコスト(円)	52, 794	53, 393	60, 238	60, 091	
3	終	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	66	64	63	62. 5	
1	岩岩	経費に占める収入の割合(%)	1	1	1	1. 7	
1		利用者1人当たりコスト(円)	1, 213	1, 529	1, 972	2, 783	
		開館1日当たりコスト(円)	163, 420	165, 275	185, 941	219, 155	
1 =	评						
	西						
l ¦	诣						
;	漂						
4	等						
_	' T						
1	備	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は	概ね6割程度で	推移している。			

Ⅳ 施設運営の方向性	
計画の有無	┃ ○ 無
目標指標	指標名・単位 H29年度 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度(見込み) 施設稼働率(%) 目標値 - - - - - - 実績値 58 61 65 72 -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ● 無
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開
現状・課題	 ○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。
議会、利用者等 からの意見	

I施設の概要				\$ \$04-03-02			
施設名	南千住ふれる	あい館					
所在地	南千住六丁	∃36番13号					
部課名	区民生活部區	区民施設課					
施設の履歴	時期	建築費	財源内]容(単位: -	千円)		
心故の復定	时初	(単位:千円)	国·都 区債 区職員 職員数		一般財源		
建築	平成24年	630, 672					
増改築①							
増改築②							
併設施設							
竣工年月日	平成244	¥3月1日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成244	年4月1日	職員数	0	16		
構造	鉄筋コンク	クリート造	階層 地上3階				
面積	敷地	.面積	1, 168. 96 m				
四1貝		面積	1, 419. 15 m ²				
設置目的・経緯					舌動を促進		
以巨口口 17 1年1年	することに。	より心豊かな:	地域社会の形	成を図る			
関連部署							
根拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則				
設置条例	設置条例 荒川区ふれあい館管理運営要綱						
駐車場の状況	2台 バ	「リアフリー	● エレベータ		れでもトイレ		
駐輪場の状況	60台	対応状況	▲ 点字ブロッ	<i>」</i> ク	コープ		





Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理 株式会社 ウィッシュ	期間	平成30年4月1日	から		
自垤炒恕		株式芸社 フィグフェ	ソイグ フェ	初印	令和5年3月31日	まで
	• 児童育成事業					
事業 内突	・高齢者レクリ	エーション事業				

・中高生・成人向け、世代間交流事業

・貸室事業

対象者 -般区民他

運営時間 午前9時~午後10時 運営時間等 年末年始 休日

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加者数(人)	47, 203	48, 702	40, 527	19, 572	28, 719
設	貸室利用者数(人)	21, 773	22, 268	22, 808	11, 331	13, 234
基	開館日数(日)	357	357	358	303	357
本	利用者評価(%) ※	44	38	48	40	-
デ	指定管理料(千円)	47, 100	56, 618	57, 352	57, 871	59, 170
	指定管理者の支出合計(千円)	44, 222	55, 876	55, 975	56, 765	56, 858
タ	指定管理者の人件費(千円)	33, 516	35, 808	33, 764	35, 383	33, 470
等						
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費	1, 486	1, 756		1, 254	2, 327
用係定	管理費	8, 450	17, 701	19, 610		18, 935
等る管	人件費	33, 516	35, 808	33, 764	35, 383	33, 470
費理	修繕費	770	611	877	2, 133	2, 126

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

Ⅲ財ः	務請							(単	位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>z</i> –		物件費	58, 778	60, 141	1, 363	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	0	0	都支出金	114	282	168
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コス		補助費等	0	59	59	使用料及び手数料	945	693	▲ 252
Ĺ	費	減価償却費	15, 475	15, 475	0	その他	323	43	▲ 280
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 382	1, 018	▲ 364
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 72, 871	▲ 74, 657	▲ 1, 786
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3, 471	▲ 3, 208	263
		行政費用合計(b)	74, 253	75, 675		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 76, 342	▲ 77, 865	▲ 1, 523
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 76, 342	▲ 77, 865	▲ 1, 523
	勘定科目		R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	19, 818	20, 085	267
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	19, 818	20, 085	267
岱		有形固定資産	494, 486	479, 012	▲ 15, 474		0	0	0
月		土地	62, 202	62, 202	0	その他の流動負債	0	0	0
貸借対照表	田	建物	544, 572	544, 572		固定負債	225, 480	205, 395	2 0, 085
昭	固定	建物減価償却累計額	117 , 627	▲ 132, 331	1 4, 704	特別区債	225, 480	205, 395	2 0, 085
表		工作物等	11, 510	11, 510	0	退職給与引当金	0	0	0
20	資産	工作物等減価償却累計額	▲ 6, 169	▲ 6, 941	▲ 772	その他の固定負債	0	0	0
	圧	無形固定資産	0	0		負債の部合計	245, 298	225, 480	1 9, 818
		建設仮勘定	0	0		正味財産	249, 188	253, 532	4, 344
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	249, 188	253, 532	4, 344
	資	産の部合計	494, 486	479, 012	▲ 15, 474	負債及び正味財産の部合計	494, 486	479, 012	▲ 15, 474

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)		
	有形固定資産減価償却率(%)	17	20	22	25. 0			
財	1㎡当たりコスト(円)	42, 662	48, 925	49, 616				
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	76	64	60	62. 3			
岩	経費に占める収入の割合(%)	2	3	2	1. 3			
指標	利用者1人当たりのコスト(円)	926	1, 032	1, 172	2, 449			
1示	開館1日当たりコスト(円)	178, 840	205, 092	207, 411	249, 752			
評								
一価								
指								
標								
等								
चं								
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6~7割程度で推移している。							

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)									
計画の有無	O 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)			
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)			
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値			 55	61	<u> </u>			
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その(他施設との	統合) 廃止)			
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)			
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	応じた事業原	展開						
現状・課題	必要がある。 ○施設の安全や衛生を担ると共に、施設の維持)施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。)利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが								
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及 [。]			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、			
議会、利用者等 からの意見										

I施設の概要			施設コード S04-03-03					
施設名	南千住駅前。	ふれあい館						
所在地	南千住七丁	目1番1-208号						
部課名	区民生活部区	区民施設課						
佐凯の屋麻	時期	建築費	財源内容(単位:千円)					
施設の履歴	时规	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
建築	平成22年							
増改築①								
増改築②								
併設施設								
竣工年月日	平成22年	¥2月1日		区職員	その他			
供用開始年月日	平成22年	平4月1日	職員数	0	18			
構造	鉄筋コンク	フリート造	階層 地上28階、地下1階建のうちの2·3階部分					
面積	敷地	.面積	アクレスティ南千住敷地内 ।					
山頂	延床	面積	1, 037. 45 m					
設置目的・経緯		高齢者まで幅			舌動を促進			
以自口的。性性	することに。	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る				
関連部署								
根拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則					
設置条例								
駐車場の状況	区民事務所共用 /	リアフリー	● エレベーク	ター しだ	れでもトイレ			
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	○ 点字ブロ	ック ● スロ	コープ			





Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	株式会社 日本デイケアセンター	期間	令和3年4月1日	まで
事業内容	・中高生・成人[・貸室事業	リエーション事業	·		
计 多去	一般区民他	_	-	-	

運営時間 休日 午前9時~午後10時 運営時間等

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 (見込み) 第業参加者数(人) 53,382 54,951 47,621 21,718 25,292 22,705 23,511 24,868 303 357 358 3			小口	<u> 不</u> 十				
登書				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
登	施	事業参加	者数(人)	53, 382	54, 951	47, 621	21, 718	25, 292
本 利用者評価(%) ※ 58 52 37 59 - 指定管理料(千円) 45,122 44,825 45,435 45,480 60,004 指定管理者の支出合計(千円) 44,848 44,337 42,868 41,102 50,946 指定管理者の人件費(千円) 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130 に指 運営費 1,738 2,207 1,522 1,344 2,700 用係定 管理費 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 等る管 人件費 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130	設	貸室利用	者数(人)	45, 576	43, 178	39, 599	20, 562	35, 511
本 利用者評価(%) ※ 58 52 37 59 - 指定管理料(千円) 45,122 44,825 45,435 45,480 60,004 指定管理者の支出合計(千円) 44,848 44,337 42,868 41,102 50,946 指定管理者の人件費(千円) 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130 に指 運営費 1,738 2,207 1,522 1,344 2,700 用係定 管理費 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 等る管 人件費 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130	基	開館日数	(日)	357	357	358	303	357
指定管理者の支出合計(千円) 44,848 44,337 42,868 41,102 50,946 指定管理者の人件費(千円) 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130 32,130 1,738 2,207 1,522 1,344 2,700 用係定管理費 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 等る管人件費 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130	本	利用者評	価(%) ※	58	52	37	59	-
タ等 指定管理者の人件費(千円) 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130 に指 用係定 等る管 人件費 1,738 2,207 1,522 1,344 2,700 15,132 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130	デ	指定管理	料(千円)	45, 122	44, 825	45, 435	45, 480	60, 004
等 に指 用係定 管理費 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 等る管 人件費 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130		指定管理者	者の支出合計(千円)	44, 848	44, 337	42, 868	41, 102	50, 946
に指 理営費 1,738 2,207 1,522 1,344 2,700 用係定 管理費 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 等る管 人件費 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130		指定管理	者の人件費(千円)	30, 331	29, 482	28, 366	27, 161	32, 130
正指 運営費	等							
用係定 管理費 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 等る管 人件費 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130		※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
用係定 管理費 12,173 12,138 12,486 11,780 15,132 等る管 人件費 30,331 29,482 28,366 27,161 32,130	に指	運営費		1, 738	2, 207	1, 522	1, 344	
# = Y Y Y Y	用係定	管理費				12, 486		15, 132
- 賞生「修繕書	等る管							
[5]信食 000 010 101 017 007	賀 埋	修繕費		606	510	494	817	984

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	单位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>_</i> _		物件費	51, 971	51, 155	▲ 816	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	105	0	▲ 105	都支出金	88	242	154
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	10, 900	11, 171	271	† 使用料及び手数料	1, 245	846	▲ 399
\rac{1}{\lambda}	費	減価償却費	10, 656	10, 656	0	へその他	3, 780	2, 743	1 ,037
<u>#</u> +	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5, 113	3, 831	▲ 1, 282
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 68, 519	▲ 69, 151	▲ 632
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	73, 632	72, 982	▲ 650	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 68, 519	▲ 69, 151	▲ 632
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 68, 519	▲ 69, 151	▲ 632
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
伐		有形固定資産	685, 099	674, 443	▲ 10, 656		0	0	0
月世		土地	397, 000	397, 000	0	その他の流動負債	0	0	0
 		建物	394, 656	394, 656		固定負債	0	0	0
貸借対照表	固定	建物減価償却累計額	1 06, 557	117 , 213	▲ 10, 656		0	0	0
表	資	工作物等	0	0	0		0	0	0
1	一定	工作物等減価償却累計額	0	0	0	ているの回た民族	0	0	0
	産	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	688, 099	677, 443	▲ 10, 656
		その他の固定資産	3, 000	3, 000		正味財産の部合計	688, 099	677, 443	▲ 10, 656
	資	産の部合計	688, 099	677, 443	▲ 10, 656	負債及び正味財産の部合計	688, 099	677, 443	▲ 10, 656
/供									

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	22	24	27. 0						
財	1㎡当たりコスト(円)	69, 611	69, 965	70, 974	70, 347					
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	68	67	66	66. 1					
指	経費に占める収入の割合(%)	7	5	7	5. 2					
指標	利用者1人当たりコスト(円)	730		844	1, 726					
17.5	開館1日当たりコスト(円)	202, 291	203, 319	205, 676	240, 865					
評										
価										
指										
標										
等										
1										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6~7割程度で推移している。									

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	O 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>		54		-
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営 ⁽ O その(他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 る物品等が不り	と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う 、組	「職員の資質 迷続的に支援	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等 からの意見							

I施	設の概要			施設コート	° S04	-03-04	
	施設名	汐入ふれあ	い館				
	所在地	南千住八丁	目2番2号				
	部課名	区民生活部	区民施設課				
旃	設の履歴	時期	建築費	財源内容(単位		千円)	
加巴	成び展歴	₽寸 #Л	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源	
	建築	平成13年	356, 192				
	増改築①						
	増改築②						
f .	并設施設						
竣	工年月日	平成13年	₹3月30日		区職員	その他	
供用	開始年月日	平成17:	年4月1日	職員数	0	11	
	構造	鉄	骨造	階層	地上3階建の・	うち2・3階部分	
	面積	敷地	也面積		汐入小学	!校敷地内 mੈ	
	山作	延床	面積			1, 278. 63 m ²	
10.18	目的・経緯		高齢者まで幅			活動を促進	
以但	・ロロソール主が手	することに	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る		
B	関連部署						
根	拠法令等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則			
言	设置条例	荒川区ふれ					
馬主耳	車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーク	ター	れでもトイレ	
馬主車	倫場の状況	20台	対応状況	点字ブロッ	ック ● ス1	ロープ	





Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	社会福祉法	去人 雲柱社	期間	平成29年4	4月1日	から			
官垤形態	拍足官垤	14五十二	本人 去性社	朔间	令和4年3.	月31日	まで			
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など									
対象者	一般区民他									
運営時間等		午前9時~午後10時								
廷占时间守	休日									
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(見込み)			
+- 車業糸加	之 粉(55 700	46 210	20 011	10 620		22 200			

		体日 年	木牛始				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加:	者数(人)	55, 709	46, 310	38, 911	19, 629	
設	貸室利用:	者数(人)	11, 873	11, 693	12, 048	8, 009	
基	開館日数	(日)	359	359	360	304	359
本	利用者評	価(%) ※	39	36	40	46	-
デ	指定管理	料(千円)	46, 478	45, 663	46, 831	41, 223	
	指定管理者	当の支出合計(千円)	47, 303	44, 094	44, 156	38, 633	
タ	指定管理	者の人件費(千円)	33, 758	31, 729	29, 729	27, 145	30, 400
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		2, 618	2, 414	1, 945	1, 775	1, 950
用係定	管理費		10, 372	9, 078	9, 521	8, 958	
等る管	人件費		33, 758	31, 729	29, 729	27, 145	
費理	修繕費		555	873	2, 961	755	1, 212

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	鱼位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	55, 079	52, 148	2 , 931	。 国庫支出金	3, 365	0	▲ 3, 365
行		維持補修費	18, 700	0	1 8, 700	都支出金	4, 837	250	4 , 587
政	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	0	25	25	† 使用料及び手数料	562	464	▲ 98
	費	減価償却費	14, 927	14, 927	0	へその他	5, 308	6, 355	1, 047
<u>#</u> +	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	14, 072	7, 069	▲ 7, 003
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 74, 634	▲ 60, 031	14, 603
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 389	▲ 130	259
		行政費用合計(b)	88, 706	67, 100	▲ 21, 606	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 75, 023	▲ 60, 161	14, 862
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 75, 023	▲ 60, 161	14, 862
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	10, 859	0	▲ 10, 859
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	10, 859	0	1 0, 859
伐		有形固定資産	172, 312	157, 385	▲ 14, 927	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
 	l ₌	建物	418, 318	418, 318		固定負債	0	0	0
昭	固定	建物減価償却累計額	4 246, 006	260 , 933	1 4, 927	特別区債	0	0	0
表	資	工作物等	6, 228	6, 228	0		0	0	0
1	一定	工作物等減価償却累計額	▲ 6, 228	▲ 6, 228	0	しい心の固定民民	0	0	0
	産	無形固定資産	0	0		負債の部合計	10, 859	0	▲ 10, 859
		建設仮勘定	0	0		正味財産	161, 453	157, 385	4 , 068
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	161, 453	157, 385	4 , 068
	資	産の部合計	172, 312	157, 385	▲ 14, 927	負債及び正味財産の部合計	172, 312	157, 385	▲ 14, 927
/供									

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	52	56	59	62. 9					
財	1㎡当たりコスト(円)	52, 462	52, 723	69, 376						
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	71	72	67	70. 3					
指	経費に占める収入の割合(%)	8	6	16	10. 5					
指標	利用者1人当たりコスト(円)	993	1, 162	1, 741	2, 428					
175	開館1日当たりコスト(円)	186, 850	187, 780	246, 406	220, 724					
評										
価										
指										
標										
等										
-1										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。									

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	94	93	94	96	
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O そのff		他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的 [:]	背景の変化に	応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備を必要がある。 ○施設の安全や衛生を担合ると共に、施設の維持を利用者のニーズに沿った必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 物品等が不足	- と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う 、組	「職員の資質 迷続的に支援	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及 ³			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等からの意見							

I施設の概要	要			施設コート	۶04 S	1-03-05		
施設名		峡田ふれあ	5い館					
所在地		荒川三丁目	3番10号					
部課名		区民生活部	『区民施設課					
施設の履	ŒŦ	時期	建築費	財源内容(単位:千円)				
他設り腹	ME .	时期	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
建第	築	平成23年	678, 070)				
増改領	築①							
増改領	築2							
併設施設	<u>г</u>							
竣工年月	日	平成2	3年2月4日		区職員	その他		
供用開始年	月日	平成2	3年4月1日	職員数	0	15		
構造		鉄筋コン	ノクリート造	階層 地上3階				
売往		敷	地面積	1, 295. 36 m				
面積		延	床面積	1, 767. 90 r				
机罢口的 。	奴姶	乳幼児から	高齢者まで幅	広い世代の多	を流と自主的:	活動を促進		
設置目的・	不 工 不 子	することに	こより心豊かな	は地域社会の形	/成を図る			
関連部署	星							
根拠法令	等	荒川区ふれ	ιあい館条例・	同施行規則				
設置条例	<u> </u>	荒川区ふ∤	い あい館管理選	営要綱				
駐車場の状	犬況		バリアフリー	● エレベー!	ター しだ	れでもトイレ		
駐輪場のも	犬況	53台	対応状況	● 点字ブロ	ック ● ス	ロープ		





π	管理運営の状況	
щ	6 生产名 27 18 20	

	管理形態	指定管理	特定非営利活動法人の	ーカーズコープ	期間	平成29年4月1日 令和4年3月31日	まで
	事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリ ・中高生・成人『 ・貸室事業	エーション事業				
	対象者	一般区民他					
ĺ	海骨時間笙	運営時間	午前9時~午後10時				

		体 日	牛末牛始				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加:	者数(人)	42, 188	33, 312	30, 202	19, 554	
設	貸室利用:	者数(人)	45, 046	42, 161	40, 980	21, 285	
基	開館日数	(日)	357	357	356	301	354
本	利用者評	価(%) ※	31	59	43	71	-
デ	指定管理	料(千円)	47, 149	46, 571	47, 410	50, 979	51, 670
	指定管理者	者の支出合計(千円	43, 363	43, 084	44, 414	46, 540	
タ	指定管理	者の人件費(千円	27, 194	24, 918	23, 184	26, 638	28, 457
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		2, 423	2, 197	2, 345	1, 957	2, 400
用係定	管理費		12, 795	14, 877	16, 208	15, 703	15, 968
等る管	人件費		27, 194	24, 918		26, 638	
費理	修繕費		951	1, 092	2, 677	2, 242	1, 676

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	鱼位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<u>,-</u>		物件費	53, 283	52, 946	▲ 337	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	0	0	都支出金	114	292	178
政	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	1	12	11	7 使用料及び手数料	1, 452	1, 272	▲ 180
1 ^	費	減価償却費	18, 488	18, 488	0	その他	3, 696	4, 862	1, 166
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5, 262	6, 426	1, 164
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 66, 510	▲ 65, 020	1, 490
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	▲ 2, 460	▲ 2, 242	218
		行政費用合計(b)	71, 772	71, 446		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 68, 970	▲ 67, 262	1, 708
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 68, 970	▲ 67, 262	1, 708
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	12, 868	13, 062	194
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	12, 868	13, 062	194
岱		有形固定資産	573, 821	555, 333	▲ 18, 488		0	0	0
貸借対照表		土地	114, 251	114, 251	0	その他の流動負債	0	0	0
씱	固	建物	590, 550	590, 550		固定負債	139, 834	126, 772	▲ 13, 062
昭	固定	建物減価償却累計額	▲ 143, 504	▲ 159, 449	▲ 15, 945		139, 834	126, 772	▲ 13, 062
表	資	工作物等	37, 951	37, 951	0	退職給与引当金	0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 25, 427	▲ 27, 970	▲ 2, 543		0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	152, 702	139, 834	▲ 12, 868
		建設仮勘定	0	0		正味財産	421, 119	415, 499	▲ 5, 620
	-	その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	421, 119	415, 499	▲ 5, 620
	貸.	産の部合計	573, 821	555, 333	▲ 18, 488	負債及び正味財産の部合計	573, 821	555, 333	▲ 18, 488
/±±									

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	21.0	24	27	29. 8					
財	1㎡当たりコスト(円)	27, 863	28, 949	28, 861	28, 730					
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	63	58	52	57. 2					
岩	経費に占める収入の割合(%)	3	7	7	9. 0					
指標	利用者1人当たりコスト(円)	794	954	1, 008	1, 749					
1示	開館1日当たりコスト(円)	194, 087	201, 653	201, 607	237, 362					
評										
一価										
指										
標										
等										
चं										
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。									

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	○無●有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値		<u> </u>			<u> </u>
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その(他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 物品等が不足	と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う 、維	「職員の資質 ^迷 続的に支援	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等 からの意見							

I施設の概要			施設コート	š S04	-03-06
施設名	三河島ひろ	ば館			
所在地	荒川三丁目	36番4号			
部課名	区民生活部	区民施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内国・都	· 容(単位: · 区債	千円) 一般財源
建築	昭和46年				
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和46:	年3月23日		区職員	その他
供用開始年月日	昭和46:	年4月15日	職員数	0	3
構造	そ	の他	階層 地上2階		
面積	敷±	也面積			226 m ²
山惧		末面積			272 m²
設置目的・経緯		相互交流して の増進を図る			
関連部署		の指定で図る	120,00,000	<u>, </u>	77-91 07 JÆ JX
根拠法令等	芸川区区民	ひろば館条例	• 同協行担則	ī	
設置条例		ひろば館管理		,	
駐車場の状況	, ,		0 エレベーク	ター 0だ	れでもトイレ
駐輪場の状況	無	対応状況	〇 点字ブロ		コープ





Ⅱ管理道	軍営の状況	2							
管理	里形態	委託	三河島ひろ	ば館運営委員会		期間	令和3年4		から
		1 11 41 46 99 4					令和4年3	月3日	まで
	業内容	・地域別演芸大 ・健康器具(高 ・貸室事業	ドレクリエーション事業会や文化祭等のひろは 「圧電界保健装置等)の	ば館利用者相互の交)設置	流を図	る事業			
対	象者	満60歳以上の者	「(貸室事業は一般区)	른他)					
雷兴	時間等	運営時間	午前9時~午後5時(貸	資室事業は午前9時~	-午後1	10時)			
) 建五	时间守	休日	日曜日、祝日、年末年	F始(貸室事業は年)	末年始	かみ)			
			平成29年度	平成30年度	令	·和元年度	令和2年度	令和3年度	(見込み)
施	事業参加	者数(人)	4, 701	3, 646		3, 463	1, 695		3, 145
設	貸室利用	者数(人)	3, 486	3, 318		3, 008	1, 264		1, 676
基	開館日数		359			360	305		359
基本デ	委託料人	件費(千円)	5, 720	5, 778		5, 861	5, 930		6, 541
デ									
タ									
等									
に指									
用係定									
等る管									
費理									
備考			、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、		を受け	、令和2年4月	8日から5月31日ま	で休館し <i>†</i>	:. :

皿財	務諸君	長						(単	<u>i</u> 位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給	6 与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i></i>	物]件費	7, 610	6, 633	▲ 977	_年 国庫支出金	0	0	0
行		挂持補修費	449	14	▲ 435	都支出金	3, 323	3, 362	39
政コ		助費	0	0	0		0	0	0
		制 費等	51	59	8	α 使用料及び手数料	53	7	▲ 46
1 ^		述価償却費	0	0	0	その他	14	9	▲ 5
計	用不	納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 390	3, 378	▲ 12
算		与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4, 720	▲ 3, 328	1, 392
書		の他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		f政費用合計(b)	8, 110	6, 706		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4, 720	▲ 3, 328	1, 392
		費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別	収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 4, 720	▲ 3, 328	1, 392
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流地	7入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動不	納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
									^
	産を	の他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	U
岱	産を	での他の流動資産 「形固定資産	46	46	0	賞与引当金	0	0	0
貸供	産を	での他の流動資産 可形固定資産 「土地	46 46	46 46	0	賞与引当金 その他の流動負債	0	0	0
貸借対	産る	での他の流動資産 下の世の流動資産 土地 建物	46 46 16, 494	46 46 16, 494	0	賞与引当金 その他の流動負債 固定負債	0	0 0 0	0 0
貸借対昭	産る	一の他の流動資産 可形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額	46 46	46 46	0 0	賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債	0 0 0	0	0 0 0 0
貸借対照表	産る一個定	一の他の流動資産 形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等	46 46 16, 494 ▲ 16, 494	46 46 16, 494	0 0 0 0	賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
貸借対照表	産固定資産	不の他の流動資産 形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額	46 46 16, 494 ▲ 16, 494 0 0	46 46 16, 494 ▲ 16, 494 0 0	0 0 0 0 0	賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0 0
貸借対照表	産 固定資産	一の他の流動資産 「形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 ま形固定資産	46 46 16, 494 ▲ 16, 494 0 0	46 46 16, 494 ▲ 16, 494 0 0	0 0 0 0 0	賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0
貸借対照表	産 固定資産 無建	一の他の流動資産 T形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 既形固定資産 設仮勘定	46 46 16, 494 ▲ 16, 494 0 0 0	46 46 16, 494 • 16, 494 0 0 0	0 0 0 0 0 0	賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計 正味財産	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0
貸借対照表	産 固定資産 無建え	一の他の流動資産 「形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 ま形固定資産	46 46 16, 494 ▲ 16, 494 0 0	46 46 16, 494 ▲ 16, 494 0 0	0 0 0 0 0 0	賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	100. 0	100.0	100. 0	100.0					
財	1㎡当たりコスト(円)	30, 688	29, 361	27, 504	24, 652					
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)	69	72	78	88. 4					
指	経費に占める収入の割合(%)	39	41	45	50. 4					
標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 020	1, 147	1, 156	2, 266					
1示	開館1日当たりコスト(円)	23, 253	22, 248	20, 783	21, 987					
評										
一価										
指										
標										
等										
寸										
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7割程度で推移している。									

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープラン H29年度 H30年度 R元年度 O無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 R3年度(見込み) R2年度 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 77 実績値 81 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 ● 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他(● 有 (変更内容:平成12年4月から町会等で構成される運営委員会へ委託 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実 〇施設·設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 〇将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を 行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくこと 現状・課題 が必要である。 〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく ことが課題である。 課題に対する 〇施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。 現時点での考え 議会、利用者等 からの意見

I施	設の概要			施設コート	\$ S04	-03-07		
	施設名	荒川六丁目で	ひろば館					
	所在地	荒川六丁目3	3番4号					
	部課名	区民生活部	区民施設課					
施	記の履歴	時期	時期 建築費 (単位:千円)		財源内容(単位:千円) 国・都 区債 一般			
	建築	昭和46年						
	増改築①							
	増改築②							
1	併設施設							
竣	竣工年月日 昭和46年3月29日				区職員	その他		
供用	開始年月日	昭和46年	年5月1日	職員数	0	4		
	構造	その	の他	階層 地上2階				
	面積	敷地	面積			251 m²		
	山頂	延床	面積			277 m²		
記器	置目的・経緯		相互交流して					
以巨	五日13 小工小年	高齢者福祉の	70増進を図る	ためのレクリ	エーション(の場の提供		
	関連部署							
-	! 拠法令等		ひろば館条例]			
Ī	設置条例		ひろば館管理	運営要綱				
駐	車場の状況	無バ	「リアフリー	O エレベーク		れでもトイレ		
馬主	輪場の状況	7台	対応状況	○ 点字ブロ	ック ● スロ	コープ		



Ⅱ管理道	軍営の状況	.											
管理	里形態	委託	株式	さませ	ワコー	-インター :	ナショナ	ル	期間		令和3年4 令和6年3		から まで
			<u> </u>								<u>п тио 1 о</u>	ДЛЦ	180
	・文化教養及びレクリエーション事業 事業内容 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・貸室事業 ・												
対	対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)												
運営	運営時間等 年前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時)												
~	- 1 (-1 1)	休日	日曜日、						に年始のみ)				
	+ 114 /2 1 -	. 	7	平成29年		平成30		令	和元年度	令和2		令和3年度	
施	事業参加者数(人)				3, 341		3, 233		2, 637		1, 082		1, 152
設	貸室利用		3, 386			4, 129		3, 301		1, 684		1, 104	
基	開館日数	• •			359		359		360		305		359
本 デ	委託料人	件費(千円) ※			-		4, 832		4, 832		5, 299		6, 110
ア													
タ													
等													
ग	※30年度	から委託化											
に指	⊼00干皮	.がり安山山											
用係定													
等る管													
費理													
備考		人件費の金額は ロナウイルス感						を受け	、令和2年4月	8日から5月	月31日ま	で休館し <i>†</i>	. <u> </u>

皿財	務計	者表						単)	鱼位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>2</i> -		物件費	7, 439	7, 034	▲ 405	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	206	145	▲ 61	型 都支出金	3, 161	3, 189	28
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コス		補助費等	0	1	1	ス 使用料及び手数料	140	112	▲ 28
	費	減価償却費	203	203	0	へその他	0	0	0
<u> </u>	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 301	3, 301	0
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4, 547	4 , 082	465
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	7, 848	7, 383	▲ 465	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4, 547	▲ 4, 082	465
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4, 547	4 , 082	465
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	N M E IX	0	0	0
貸		有形固定資産	24, 241	24, 039	▲ 202		0	0	0
月供		土地	22, 029	22, 029	0	しい心の加到民民	0	0	0
借 対	Œ	建物	17, 315	17, 315	0	固定負債	0	0	0
昭	固定	建物減価償却累計額	▲ 17, 314	▲ 17, 314	0	特別区債	0	0	0
照表	資	工作物等	3, 022	3, 022	0	退職給与引当金	0	0	0
1	産	工作物等減価償却累計額	▲ 810	1 , 013	▲ 203	その他の固定負債	0	0	0
	圧	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	24, 241	24, 039	▲ 202
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	24, 241	24, 039	▲ 202
	資	産の部合計	24, 241	24, 039	▲ 202	負債及び正味財産の部合計	24, 241	24, 039	▲ 202

備 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費(委託料)が大部分を占めている(平成30年度から委託 代)。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)				
	有形固定資産減価償却率(%)	87	88	89	90. 1					
財	1㎡当たりコスト(円)	57, 714	28, 175	28, 330	26, 652					
務	人にかかるコストの割合(%)	76	62	62	71. 8					
指	経費に占める収入の割合(%)	27	42	42	44. 7					
標	利用者1人当たりコスト(円)	2, 377	1, 060		2, 669					
1示	開館1日当たりコスト(円)	44, 535	21, 741	21, 800	24, 207					
評										
一価										
指										
標										
等										
₹										
借										
備考	│行政費用に占める人にかかるコストの割合は概	行政費用に占める人にかかるコストの割合は概ね6~7割程度で推移している。								
75										

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープランH29年度 H30年度 R元年度 O無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 R2年度 R3年度(見込み) 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 51 実績値 74 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他((変更内容: 平成30年4月から運営業務を委託 ●有 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実 ○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 〇将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を 行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくこと 現状・課題 が必要である。 〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく ことが課題である。 課題に対する ○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。 現時点での考え 議会、利用者等 からの意見

I施	設の概要			施設コート	S04	-03-08	
	施設名	荒川山吹ふれ	1あい館				
	所在地	荒川七丁目6	番8号				
	部課名	区民生活部区	区民施設課				
+/-	・シャを皮	建築費 建築費		財源内]容(単位:	千円)	
7世	設の履歴	時期	(単位:千円)	国・都	一般財源		
	建築	平成17年	354, 470				
	増改築①						
	増改築②						
1:	并設施設						
竣	竣工年月日 平成17年12月21日			/	区職員	その他	
供用	開始年月日	平成18年	平2月1日	職員数	0	14	
	構造	鉄帽	骨造	階層 地上3階			
	面積	敷地	.面積	666 m			
	山 作	延床	面積	1, 230. 26 m			
- 10 円	目的・経緯		高齢者まで幅.			舌動を促進	
改旦	. 日 ロソ ・ 作神	することに。	より心豊かな:	地域社会の形	成を図る		
l l	関連部署						
根	拠法令等	荒川区ふれあい館条例・同施行規則					
Ē	设置条例	荒川区ふれる	あい館管理運				
駐車	車場の状況	1台 バ	リアフリー	● エレベータ		れでもトイレ	
駐車	倫場の状況	60台	対応状況	● 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ	





π	答 理	雷坐	$\boldsymbol{\sigma}$	状況
ш	官理	18年末	w	1人 汀.

管理形態	指定管理	│ 特定非営利活動法人 │ 荒川区高年者クラブ連合会	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリ ・中高生・成人[・貸室事業	エーション事業			

・貸室事業 対象者 -般区民他

運営時間 午前9時~午後10時 運営時間等

		W D + 2	<u>木</u> 十知				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加	者数(人)	33, 431	28, 901	29, 606	14, 540	
設	貸室利用者数(人)		38, 027	22, 926	30, 879	15, 642	17, 727
基	開館日数	(日)	357	357	358	303	357
本	利用者評	価(%) ※	33	30	34	39	-
デ	指定管理	料(千円)	45, 010	52, 898	56, 905	53, 784	55, 482
	指定管理者	当の支出合計(千円)	42, 383	49, 035	51, 601	49, 505	52, 830
タ	指定管理	者の人件費(千円)	26, 287	30, 591	31, 896	31, 081	32, 039
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		4, 385	1, 830	1, 769	1, 700	2, 910
用係定	管理費		10, 567	15, 754	14, 223	15, 558	
等る管	人件費		26, 287	30, 591	31, 896	31, 081	32, 039
費理	修繕費		1, 144	860	3, 713	1, 166	1, 166

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務計	者表						(単	鱼位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>i</i> –		物件費	58, 665	56, 086	▲ 2, 579	∠ 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	0	0	1251000000	88	253	165
政	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	0	37	37	† 使用料及び手数料	984	683	▲ 301
_	費	減価償却費	13, 414	13, 408	A 6	へその他	1, 601	668	▲ 933
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2, 673	1, 604	1 ,069
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 69, 406	▲ 67, 927	1, 479
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 1, 947	▲ 1,658	289
		行政費用合計(b)	72, 079	69, 531	▲ 2, 548	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 71, 353	▲ 69, 585	1, 768
	特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 71, 353	▲ 69, 585	1, 768
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	15, 947	16, 241	294
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	15, 947	16, 241	294
1'\		有形固定資産	281, 136	267, 728	▲ 13, 408	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	69, 708	69, 708	0	その他の流動負債	0	0	0
 	l ₌	建物	365, 486	365, 486		固定負債	76, 747	60, 505	▲ 16, 242
昭	固定	建物減価償却累計額	154 , 138	1 67, 466	▲ 13, 328		76, 747	60, 505	▲ 16, 242
夫	資	工作物等	1, 295	1, 295	0	退職給与引当金	0	0	0
10	産	工作物等減価償却累計額	▲ 1, 214	▲ 1, 295	▲ 81	その他の固定負債	0	0	0
	产	無形固定資産	0	0		負債の部合計	92, 694	76, 746	▲ 15, 948
		建設仮勘定	0	0		正味財産	188, 442	190, 982	2, 540
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	188, 442	190, 982	2, 540
	資	産の部合計	281, 136	267, 728	▲ 13, 408	負債及び正味財産の部合計	281, 136	267, 728	▲ 13, 408
借	l								

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)			
	有形固定資産減価償却率(%)	40	39	42	46. 0				
財	1㎡当たりコスト(円)	49, 294	53, 959	58, 588					
終	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	62	62	62	62. 8				
務指標	経費に占める収入の割合(%)	2	5	4	2. 3				
煙	利用者1人当たりコスト(円)	849	1, 281	1, 192	2, 304				
17.5	開館1日当たりコスト(円)	169, 871	185, 950	201, 338	229, 475				
評									
一品									
指									
標									
等									
11									
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。								

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性	(所管の考え方)								
計画の有無	┃ 〇 無								
	指標名・単位 H29年度 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度(見込み)								
目標指標	施設稼働率(%) 目標値 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —								
	美領旭 48 48 52								
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()								
	○ 有 (変更内容:)								
管理形態の変更の推移	● 無 (
利用者・地域のニース	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開								
	O指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる								
	┃ 必要がある。 ┃○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図 ┃								
現状・課題	○施設の女主や衛生を担保するため、指定官理者と連携し、研修寺を通して職員の賃貸の向上を図 ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。								
	○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが								
	必要である。								
-m									
課題に対する	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 								
現時点での考え	計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。								
議会、利用者等									
からの意見									

I施	設の概要			施設コート	š S04	-03-09			
	施設名	町屋ふれあ	い館						
	所在地	町屋一丁目	35番8号						
	部課名	区民生活部	区民施設課						
+/-	・シャを圧	時期 建築費 (単位:千円)		財源内容(単位:千円)					
加也	設の履歴			国・都	一般財源				
	建築	平成24年	584, 850						
	増改築①								
	増改築②								
<u>f:</u>	并設施設								
竣	工年月日	工年月日 平成24年2月24日			区職員	その他			
供用	開始年月日	平成24	年4月1日	職員数	0	23			
	構造	鉄筋コン	クリート造	階層 地上3階					
	面積	敷坩	也面積			1, 331. 07 m ²			
	山頂	延月	F面積	1, 494. 30 m					
シ書	目的・経緯	乳幼児から	高齢者まで幅	広い世代の交	流と自主的	舌動を促進			
改旦	.日可"在"	することにより心豊かな地域社会の形成を図る							
l l	関連部署								
根	拠法令等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則					
言	设置条例	荒川区ふれ	荒川区ふれあい館管理運営要綱						
駐車	車場の状況	2台 /	バリアフリー	● エレベータ	ター しだ	れでもトイレ			
馬主車	論場の状況	50台	対応状況	点字ブロッ	ック ● スロ	コープ			





π	等 理	油带	$\boldsymbol{\sigma}$	状況
щ	官理	進名	w	1人 <i>沉</i>

管理	理形態	指定管理	社会福祉	社会福祉法人 雲柱社 期間 平成30年4月1日 から 令和5年3月31日 まで								
	業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリ ・中高生・成人[・貸室事業	高齢者レクリエーション事業 中高生·成人向け、世代間交流事業 貸室事業 など									
対	象者	一般区民他										
雷台	時間等	運営時間	午前9時~午後10時									
廷占	甲列則五	休日	年末年始									
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)					
施	事業参加		58, 844	65, 169	60, 683	22, 200	30, 029					
設	貸室利用	者数(人)	31, 647	39, 174	29, 813	13, 830	14, 093					
基	開館日数	(日) 357 358 303										
本	利用者評	価(%) ※	54	43	60	45	-					
=	华宁	料(工田)	51 024	50, 226	51 224	52 257	57 650					

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加者数(人)	58, 844	65, 169	60, 683	22, 200	
設	貸室利用者数(人)	31, 647	39, 174	29, 813	13, 830	
基	開館日数(日)	357	357	358	303	357
本	利用者評価(%) ※	54	43	60	45	
デ	指定管理料(千円)	51, 024	50, 236	51, 234	52, 357	57, 659
	指定管理者の支出合計(千円)	51, 325	49, 099	49, 208	49, 088	
タ	指定管理者の人件費(千円)	34, 440	32, 630	33, 417	35, 511	35, 800
等						
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費	3, 573	3, 540		2, 200	
用係定	管理費	12, 405	12, 065		10, 541	15, 376
等る管	人件費	34, 440			35, 511	
費理	修繕費	907	864	789	836	1, 733

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	財務諸表 (単位:千円)										
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額		
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0		
<i></i>		物件費	57, 675	57, 573	▲ 102	_年 国庫支出金	0	0	0		
行		維持補修費	1, 100	209	▲ 891	都支出金	114	295	181		
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0		
コス	政	補助費等	0	56	56	^収 使用料及び手数料	1, 440	776	▲ 664		
^	費	減価償却費	17, 220	17, 220	0	へその他	5, 642	5, 092	▲ 550		
<u></u>	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7, 196	6, 163	1 , 033		
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 68, 799	▲ 68, 895	▲ 96		
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3, 601	▲ 3, 329	272		
		行政費用合計(b)	75, 995	75, 058	▲ 937	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 72, 400	▲ 72, 224	176		
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 72, 400	▲ 72, 224	176		
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額		
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	20, 557	20, 833	276		
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0		
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	20, 557	20, 833	276		
呇		有形固定資産	941, 599	924, 379	▲ 17, 220		0	0	0		
貸借対照表		土地	469, 140	469, 140	0	その他の流動負債	0	0	0		
 	æ	建物	585, 174	585, 174		固定負債	233, 831	212, 998	2 0, 833		
昭	固定	建物減価償却累計額	122 , 551	138 , 351	1 5, 800		233, 831	212, 998	2 0, 833		
表	資	工作物等	21, 200	21, 200	0		0	0	0		
1	産	工作物等減価償却累計額	1 1, 363	▲ 12, 783	▲ 1, 420	1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	0		
	-	無形固定資産	0	0		負債の部合計	254, 388	233, 831	▲ 20, 557		
		建設仮勘定	0	0		正味財産	687, 211	690, 548	3, 337		
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	687, 211	690, 548	3, 337		
	資.	産の部合計	941, 599	924, 379	▲ 17, 220	負債及び正味財産の部合計	941, 599	924, 379	▲ 17, 220		
/供											

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	16		22	24. 9	
財	1㎡当たりコスト(円)	46, 292	49, 558	50, 857	50, 230	
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	67	67	68	72. 3	
岩	経費に占める収入の割合(%)	2	4	10		
指標	利用者1人当たりコスト(円)	764	710	840		
1示	開館1日当たりコスト(円)	193, 765	207, 434	212, 277	247, 716	
評						
一価						
指						
標						
等						
-1						
備考	 指定管理料に占める人にかかるコストの割合に 	は概ね7割程度で	推移している。			

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	O 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>	<u> </u>	— 64	60	
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その(他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 る物品等が不り	と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよう、維	「職員の資質 ^{迷続的に支援}	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等 からの意見							

I施設の概要			施設コート	۶04 S	-03-10			
施設名	町屋二丁目	ひろば館						
所在地	町屋二丁目	厅屋二丁目8番13号						
部課名	区民生活部	『区民施設課						
施設の履歴	時期	建築費	財源内	內容(単位:	千円)			
加設の複雑	时别	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
建築	昭和44年							
増改築①								
増改築②								
併設施設								
竣工年月日	昭和44:	年11月20日		区職員	その他			
供用開始年月日	昭和44	年12月1日	職員数	0	3			
構造	7	一の他	階層	地上	-2階			
面積	敷:	地面積			133 m ²			
山傾	延	床面積			165 m ²			
設置目的・経緯	地域住民か	「相互交流して	自主的な活動	カを進めるた。	めの場及び			
改造日的	高齢者福祉	Łの増進を図る	ためのレクリ	リエーション	の場の提供			
関連部署								
根拠法令等		ひろば館条例		IJ				
設置条例		ひろば館管理	運営要綱					
駐車場の状況		バリアフリー	O エレベー!	ター 〇だ	れでもトイレ			
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロ	ック ● ス	ロープ			



Ⅱ管理道	Ⅱ管理運営の状況												
管理	里形態	委託	町屋二丁目ひ	ろば館運営委員会		期間	令和3年4 令和4年3		から まで				
事業	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・健康器具(高圧電界保健装置等)の設置 ・貸室事業												
対	象者	満60歳以上の者											
運営	運営時間等 年前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時)												
Æ D ,													
			平成29年度	平成30年度	令	和元年度	令和2年度	令和3年度					
施	事業参加		6, 469			5, 504	2, 418		4, 181				
設	貸室利用		3, 281	3, 920		3, 321	1, 723		2, 232				
基	開館日数		359			360	305		359				
本	<u> </u>	件費(千円)	5, 732	5, 818		5, 858	5, 966		6, 541				
デ													
タ													
等													
に指													
用係定等る管													
費理													
備考			、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、		た巫は	会和9年4日	Qロかた5月21日士:	で体館した	_				
45	〇初至コ	ロノフィル人感	未近加入防止のため、	国の系記事態旦言?	で文门、	, 7 和2 平4月	0口から2月31日ま	で予照した	- 0				

皿財	「財務諸表 (単位:千円)									
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	
		物件費	7, 760	6, 812	▲ 948	₄ 国庫支出金	0	0	0	
行		維持補修費	1, 084	150	▲ 934	都支出金 政 八日	3, 323	3, 362	39	
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0	
コス	政	補助費等	23	36	13	双 使用料及び手数料	81	41	▲ 40	
\ \frac{1}{r}	費	減価償却費	0	0	0	へその他	854	12	▲ 842	
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4, 258	3, 415	▲ 843	
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4, 609	▲ 3, 583	1, 026	
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	8, 867	6, 998		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4, 609	▲ 3, 583	1, 026	
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4, 609	▲ 3, 583	1, 026	
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	
	判資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
含		有形固定資産	4, 088	4, 088	0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0	0	0	
貸借対		土地	4, 088	4, 088	0	C 47 10 47 7/10 201 35C 15C	0	0	0	
수 III	固	建物	7, 399	7, 399	0	四人天区	0	0	0	
昭	定	建物減価償却累計額	▲ 7, 399	▲ 7, 399	0	13////- [25	0	0	0	
照表	資	工作物等	0	0	0	- 1201 J J J	0	0	0	
	産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	ての心の四人民民	0	0	0	
	'-	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4, 088	4, 088	0	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	4, 088	4, 088	0	
	資	産の部合計	4, 088	4, 088	0	負債及び正味財産の部合計	4, 088	4, 088	0	
/供										

順 大大部分を占めている。 大大部分を占めている。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	100. 0	100.0	100. 0	100.0	
財	1㎡当たりコスト(円)	44, 784	47, 568	53, 779	42, 443	
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)	78	74	66	85. 3	
指	経費に占める収入の割合(%)	45	42	48. 0	48. 8	
標	利用者1人当たりコスト(円)	757	885	1, 005	1, 690	
1亦	開館1日当たりコスト(円)	20, 568	21, 847	24, 631	22, 944	
評						
一価						
指						
標						
等						
ग						

備 行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7割程度で推移している。R2年度はR元年度に比べ維持補修費の減 考 により行政費用の総額が大幅に減少したため、人に係るコストの割合が相対的に上昇した。

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運宮の万冋性							
計画の有無	○無●有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値					_
		実績値	72 比 O	72	74	84	
施設運営の方向性	〇 転用·多目的化 〇 現状維持	O 民営(O その)	也(他施設との		廃止)
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ○ 無	平成10年4	月から町会等	で構成され	る運営委員会	会へ委託)
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレク	リエーション	- 事業の充実				
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対 ○将来的なふれあい館へ 行っていく必要がある ○利用者のニーズに沿っ が必要である。 ○利用者が固定化する傾 ことが課題である。	の移行を見振。 た館運営によ	まえながら、* こりサービス(利用者の使用	実態に応じた図って利用者	首を確保して	いくこと
課題に対する 現時点での考え	○施設の現状を把握し、	適切な修繕を	そ行い、利用を	者ニーズに対	応していく。		
議会、利用者等 からの意見							

I 施設0	D概要			施設コート	° S04	-03-11			
施	没名	荒木田ふれ	あい館						
所	在地	町屋六丁目	13番2 号						
部	課名	区民生活部	区民施設課						
′′	の履歴	時期	建築費	財源内	羽容(単位:	千円)			
ルビュスへ	の限症	中寸郑7	(単位:千円)	国•都	区債	一般財源			
	建築	平成16年	359, 205						
埠	曾改築①								
埠	曾改築②								
併設	施設								
竣工	年月日	平成164	年10月15日		区職員	その他			
供用開	始年月日	平成164	年10月26日	職員数	0	13			
棒	造	釸	·骨造	階層	地上	. 3 階			
ᅲ	ī積	敷:	也面積			784 m ²			
ДН	1代貝	延月	末面積	1, 215. 43 m					
128日	的・経緯		高齢者まで幅			活動を促進			
		することに	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る				
関連	部署								
根拠	去令等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則					
設置	条例	荒川区ふれ	荒川区ふれあい館管理運営要綱						
駐車場	め状況	2台 /	バリアフリー	● エレベーク	ター だ:	れでもトイレ			
駐輪場	の状況	55台	対応状況	点字ブロッ	ック ● ス	ロープ			





π	管理運営の状況	
щ	6 生产名 27 18 20	

に指 用係定 等る管 費理

□官理》	里呂の祆沩	J											
管 理	里形態	指定管理	株式会社 大	· 起エンゼルヘルプ	期間	令和3年4							
	工// /広	717	****)A11H1	令和8年3	月31日 まで						
- 	许	・児童育成事業・高齢者レクリ	゙ エーション事業										
争录		・中高生·成人「	句け、世代間交流事業										
		・貸室事業											
対	象者	一般区民他	段区民他										
13000	時間等	運営時間											
建呂	时间守	休日	年末年始										
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)						
施	事業参加	者数(人)	47, 118	43, 296	34, 548	27, 659	27, 034						
設	貸室利用	者数(人)	32, 701	34, 894	28, 076	16, 272	19, 325						
設基	開館日数	(日)	356	356	357	302	356						
本	利用者評	価(%) ※	46	46 32		41	-						
デ	指定管理	料(千円)	47, 625	44, 986	45, 220	47, 605	59, 802						
	指定管理	者の支出合計(千月	円) 44, 271	43, 719			55, 602						
タ	指定管理	者の人件費(千円	31, 088	27, 746	28, 057	30, 885	35, 400						

運営費 管理費 人件費 修繕費 備考

ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

3, 160 8, 892

31, 088 1, 131 3, 021 11, 838 27, 746

1, 114

2, 748 13, 237 28, 057

1, 118

1, 551 12, 917 30, 885

1, 146

3, 570 15, 480 35, 400

皿財	務計							(单	並位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i></i> _		物件費	49, 668	49, 214	▲ 454	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	0	0	都支出金	114	288	174
政「	行	扶助費	0	0	0		0	0	0
コス	政	補助費等	0	112	112	ス 使用料及び手数料	1, 487	1, 159	▲ 328
l^	費	減価償却費	11, 517	11, 348	▲ 169	くその他	2, 824	3, 327	503
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4, 425	4, 774	349
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 56, 760	▲ 55, 900	860
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	▲ 705	▲ 586	119
		行政費用合計(b)	61, 185	60, 674		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 57, 465	▲ 56, 486	979
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 57, 465	▲ 56, 486	979
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流晶	収入未済	0	0	0	流動負債	7, 972	8, 092	120
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	7, 972	8, 092	120
岱		有形固定資産	569, 365	558, 017	▲ 11, 348		0	0	0
一件		土地	395, 708	395, 708	0	その他の流動負債	0	0	0
貸借対照表	田	建物	343, 875	343, 875		固定負債	33, 106	25, 014	▲ 8,092
昭	固定	建物減価償却累計額	170, 218	▲ 181, 566	▲ 11, 348		33, 106	25, 014	▲ 8, 092
表	~	工作物等	2, 731	2, 731	0	退職給与引当金	0	0	0
	資産	工作物等減価償却累計額	▲ 2, 731	▲ 2, 731	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	41, 078	33, 106	▲ 7, 972
		建設仮勘定	0	0		正味財産	528, 287	524, 911	▲ 3, 376
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	528, 287	524, 911	▲ 3,376
	120	産の部合計	569, 365	558, 017	▲ 11 348	負債及び正味財産の部合計	569, 365	558, 017	▲ 11, 348

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)					
	有形固定資産減価償却率(%)	43	47	50							
財	1㎡当たりコスト(円)	49, 776		50, 340							
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	70	64	62	66. 4						
岩	経費に占める収入の割合(%)	4	3	7	7. 9						
指標	利用者1人当たりコスト(円)	758	771	977	1, 381						
1示	開館1日当たりコスト(円)	169, 941	169, 331	171, 387	200, 907						
評											
一価											
指											
標											
等											
-1											
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。										

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性											
計画の有無	O 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)				
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)				
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>		<u> </u>	 51	<u> </u>				
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営 ⁽ O その(他施設との	統合	廃止)				
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)				
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開							
現状・課題	必要がある。 〇施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持)施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。)利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが									
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、				
議会、利用者等 からの意見											

I施	設の概要			施設コート	S04	-03-12
	施設名	東尾久小沼で	うろば館			
	所在地	東尾久一丁	目21番23号			
	部課名	区民生活部	区民施設課			
施	設の履歴	時期 建築費 (単位:千円)		財源内 国・都]容(単位:· 区債	千円) 一般財源
	建築	昭和51年				
	増改築①					
	増改築②					
1	併設施設					
竣	工年月日	昭和51年	₹7月24日		区職員	その他
供用	開始年月日	昭和51年	₹9月3日	職員数	0	4
	構造	鉄帽	骨造	階層	地上	-2階
	面積	敷地	.面積			463. 30 m ²
	凹惧	延床	面積			303 m ²
記署	目的・経緯			自主的な活動		
以但	「口口」、小子小井	高齢者福祉の	D増進を図る	ためのレクリ	エーション	の場の提供
	関連部署					
根	拠法令等			・同施行規則	J	
	設置条例	荒川区区民で)ろば館管理	運営要綱		
馬主耳	車場の状況	無が	リアフリー	O エレベーク	ター 〇 だれ	れでもトイレ
駐車	論場の状況	15台	対応状況	点字ブロ:	ック ● スロ	コープ



Ⅱ管理運営の状況

令和2年7月1日 から 管理形態 委託 株式会社 ワコーインターナショナル 期間 令和5年3月31日

・文化教養及びレクリエーション事業 事業内容

・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業

・貸室事業

対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)

運営時間 午前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時) 運営時間等

~		休日		曜日、祝日、年末年				
				平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和3年度(見込み)
施	事業参加:			6, 321	5, 921	4, 006	1, 949	1, 983
設	貸室利用:			672	695	509	100	
設 基	開館日数			359	359	360	275	
本	委託料人	件費(千円)	*	-	-	-	4, 755	7, 048
デ								
タ								
等								
	※令和2年	₹7月から委託	七化					
に指								
用係定								
等る管 費理								
न्रय								

〇令和元年度までは非常勤職員3~4名による直営、2年4月から6月までは内装改修工事のため休館、7月から委託化。 〇委託料人件費の金額は、運営業務委託料のうち人件費相当額。

皿財	皿財務諸表 (単位:千円)									
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
		給与関係費	10, 687	0	1 0, 687	地方税等	0	0	0	
2-		物件費	1, 508	6, 774	5, 266	∠ 国庫支出金	0	0	0	
行		維持補修費	277	7, 241	6, 964	都支出金	4, 053	3, 023	1 ,030	
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0	
コス		補助費等	0	87	87	使用料及び手数料	16	5	▲ 11	
	費	減価償却費	70	70	0	その他	0	0	0	
│ }	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4, 069	3, 028	▲ 1, 041	
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	1, 212	0	▲ 1, 212	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 9, 685	▲ 11, 144	▲ 1, 459	
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	13, 754	14, 172	418	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 9, 685	▲ 11, 144	▲ 1, 459	
	特	別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 9, 685	▲ 11, 144	▲ 1, 459	
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	519	0	▲ 519	
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
貸		有形固定資産	67, 480	67, 410	▲ 70		519	0	▲ 519	
月世		土地	66, 715	66, 715	0	その他の流動負債	0	0	0	
借 対	Œ	建物	57, 013	57, 013	0	固定負債	3, 725	0	▲ 3, 725	
昭	固定	建物減価償却累計額	▲ 57, 013	▲ 57, 013	0	特別区債	0	0	0	
照表	資	工作物等	1, 045	1, 045	0	退職給与引当金	3, 725	0	▲ 3, 725	
1	産	工作物等減価償却累計額	▲ 280	▲ 350	▲ 70	その他の固定負債	0	0	0	
	圧	無形固定資産	0	0		負債の部合計	4, 244	0	▲ 4, 244	
		建設仮勘定	0	0		正味財産	63, 236	67, 410	4, 174	
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	63, 236	67, 410	4, 174	
	資	産の部合計	67, 480	67, 410	▲ 70	負債及び正味財産の部合計	67, 480	67, 410	▲ 70	

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費(委託料)が大部分を占めている(令和2年度の維持補修費は内装改修工事の実施による増。令和2年7月から委託化)。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	98	99	99	98. 8	
財	1㎡当たりコスト(円)	36, 854	64, 454		46, 700	
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)※	72	75	91. 0	33. 6	
指	経費に占める収入の割合(%)	34	25	31	21. 4	
標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 599	2, 956		6, 917	
175	開館1日当たりコスト(円)	31, 153	54, 485	38, 206	51, 535	
評						
一価						
指						
標						
等						
寺						
	※令和2年7月から委託化					

備 行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7割程度で推移している。R2年度はR元年度に比べ内装改修工事の 実施による維持補修費の増により行政費用の総額が大幅に増加したため、人にかかるコストの割合が相対的に低下した。

Ⅳ 施設運営の方向性 (所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープランH29年度 H30年度 R元年度 O 無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 R3年度(見込み) R2年度 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 67 実績値 75 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他((変更内容: 令和2年7月から運営業務を委託 ● 有 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実 〇施設·設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 〇将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を 行っていく必要がある。 現状・課題 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくこと が必要である。 〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく ことが課題である。 課題に対する ○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。 現時点での考え 議会、利用者等 からの意見

I施設の概要			施設コート	s04	-03-13		
施設名	東尾久三丁	目ひろば館					
所在地		⁻ 目5番17号					
部課名	区民生活部	『区民施設課					
施設の履歴	時期	建築費	財源内	內容(単位:	千円)		
心設り腹症	时别	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
建築	昭和48年						
増改築①							
増改築②							
併設施設							
竣工年月日	昭和48	年3月30日		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和48	年4月10日	職員数	0	3		
構造	釤	骨造	階層 地上2階				
面積	敷:	地面積			314 m ²		
山竹	延	床面積	287 m				
設置目的・経緯	地域住民か	「相互交流して	自主的な活動	カを進めるたる	めの場及び		
双直日的	高齢者福祉	Lの増進を図る	ためのレクリ	リエーション	の場の提供		
関連部署							
根拠法令等		ひろば館条例		ı]			
設置条例	荒川区区民	ひろば館管理	運営要綱				
駐車場の状況	****	バリアフリー	O エレベー?	ター 0 だ	れでもトイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロ	ック 🔵 スロ	ロープ		



Ⅱ管理道	軍営の状況	?										
管理	 里形態	委託	東尾久三丁目び	ろば館運営委員会		期間	令和3年4		から			
						77311.3	令和4年3	月31日	まで			
	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・健康器具(高圧電界保健装置等)の設置 ・貸室事業											
対	象者	満60歳以上の者	(貸室事業は一般区民	른他)								
油台	時間等	運営時間	午前9時~午後5時(貸	寳室事業は午前9時~	-午後10	0時)						
() 建西	时间寸	休日	日曜日、祝日、年末年	E始(貸室事業は年)	末年始の	のみ)						
			平成29年度	平成30年度	令和	和元年度	令和2年度	令和3年度	(見込み)			
施	事業参加	者数(人)	13, 453	9, 562		7, 591	2, 790		4, 229			
設	貸室利用	者数(人)	1, 580	1, 595		1, 398	216		231			
基	開館日数	(日)	359	359		360	305		359			
本	委託料人	件費(千円)	5, 266	5, 351		5, 805	5, 913		6, 541			
゠゙												
タ												
等												
に指												
用係定												
等る管												
費理		_										
備考			、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、		を受け、	令和2年4月	8日から5月31日ま	で休館した	<u>.</u> o			

皿財	務記	諸表						(単	位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0		0	0	0
<i></i>		物件費	7, 338	6, 742	▲ 596		0	0	0
行		維持補修費	69	0	▲ 69		3, 323	3, 362	39
政	行	扶助費	0	0	0		0	0	0
コス	政		78	165	87	λ 使用料及び手数料	57	23	▲ 34
\ \frac{1}{F}	費	減価償却費	0	0	0	C 44 10	49	9	▲ 40
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 429	3, 394	▲ 35
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4, 056	▲ 3, 513	543
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	7, 485	6, 907		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4, 056	▲ 3, 513	543
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4, 056	▲ 3, 513	543
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	1/1/1/1/1/1	0	0	0	流動負債	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
貸		有形固定資産	76	76	0	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	0	0	0
倶		土地	76	76	0	ての心の加利夫民	0	0	0
쓔	固	建物	21, 792	21, 792	0	固定負債	0	0	0
借対照表	定	建物测测 負却系計額	▲ 21, 792	▲ 21, 792	0		0	0	0
表	資	工作初寺	0	0	0	~	0	0	0
	産	工作物寺減価償却系計額	0	0	0	ての心の四人兵民	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	76	76	0
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	76	76	0
	資	産の部合計	76	76	0	負債及び正味財産の部合計	76	76	0
/±±									

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)					
	有形固定資産減価償却率(%)	100. 0	100.0		100.0						
財	1㎡当たりコスト(円)	25, 553	28, 199		24, 043						
務	人にかかるコストの割合(委託)(%)	72	66	78	85. 6						
指	経費に占める収入の割合(%)	45	41	45. 8	49. 1						
標	利用者1人当たりコスト(円)	488	726		2, 298						
175	開館1日当たりコスト(円)	20, 448	22, 565	20, 792	22, 646						
評											
一品											
指											
標											
等											
₹											
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7割程度で推移している。										

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープラン H29年度 H30年度 R元年度 O無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 R3年度(見込み) R2年度 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 69 実績値 66 80 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 ● 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他(● 有 (変更内容:平成13年4月から町会等で構成される運営委員会へ委託 管理形態の変更の推移 0 利用者・地域のニーズ 高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実 〇施設·設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 〇将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を 行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくこと 現状・課題 が必要である。 〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく ことが課題である。 課題に対する 〇施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。 現時点での考え 議会、利用者等 からの意見

I施	設の概要			施設コート	° S04	-03-14			
	施設名	尾久ふれあり	ハ館						
	所在地	西尾久二丁	目25番13号						
	部課名	区民生活部區	区民施設課						
施	設の履歴	時期	建築費	財源内容(単位:千円)					
			(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
	建築	平成24年	956, 976						
	増改築①								
	増改築②								
1	併設施設								
竣	工年月日	平成24年	53月23日		区職員	その他			
供用	開始年月日	平成244	₹4月1日	職員数	0	13			
	構造	鉄筋コンク	フリート造	階層 地上6階					
	面積	敷地	.面積	741 m					
	山傾	延床	面積	2, 138. 51 n					
=ル-宝	目的・経緯	乳幼児からる	高齢者まで幅.	広い世代の交	流と自主的	活動を促進			
改旦	「日ロ)」 小子小寺	することに。	より心豊かな:	地域社会の形	/成を図る				
	関連部署								
根	拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則					
Ī	设置条例	荒川区ふれる	あい館管理運	営要綱					
駐車	車場の状況	2台 バ	リアフリー	●エレベータ	ター ● だ タ	れでもトイレ			
駐車	輪場の状況	50台	対応状況	● 点字ブロッ	ック ● スI	コープ			





π	管理	潘僧	ት / ጉ	#	
ш	胃坪)# æ	: UJ	1A.	7T.

対象者

管理形態	指定管理	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	期間	中成30年4月1日 令和5年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリ ・中高生・成人[エーション事業			

・貸室事業

運営時間 午前9時~午後10時 運営時間等

-般区民他

	313	休日 年	末年始				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加:	者数(人)	52, 673	53, 099	48, 258	28, 757	33, 461
設	貸室利用:	者数(人)	57, 709	62, 936	56, 684	31, 490	39, 989
設 基	開館日数(日)		357	357	358	300	355
本	利用者評	価(%) ※	56	55	43	61	-
デ	指定管理	料(千円)	52, 077	55, 853	60, 571	60, 352	61, 480
	指定管理者	当の支出合計(千円)	50, 288	55, 169	60, 147	58, 966	59, 879
タ	指定管理	者の人件費(千円)	31, 875	32, 799	36, 893	37, 965	37, 004
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		2, 995	3, 210	3, 541	2, 665	3, 290
用係定 等る管	管理費		14, 124	17, 799	18, 487	16, 992	18, 231
	人件費		31, 875	32, 799	36, 893	37, 965	37, 004
費理	修繕費		1, 294	1, 361	1, 226	1, 344	1, 354

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	者表						(単	鱼位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>,</i> –		物件費	62, 662	62, 338	▲ 324	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	4, 948	1, 429	▲ 3, 519	都支出金	140	325	185
政	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	5	151	146	ス 使用料及び手数料	2, 147	1, 608	▲ 539
^	費	減価償却費	24, 067	24, 067	0	その他	4, 640	455	▲ 4, 185
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6, 927	2, 388	▲ 4, 539
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 84, 755	▲ 85, 597	▲ 842
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	▲ 5, 776	▲ 5, 339	437
		行政費用合計(b)	91, 682	87, 985		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 90, 531	▲ 90, 936	▲ 405
	特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 90, 531	▲ 90, 936	▲ 405
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	33, 102	33, 545	443
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	33, 102	33, 545	443
岱		有形固定資産	752, 370	728, 303	4 24, 067	賞与引当金	0	0	0
一件		土地	69, 619	69, 619	0	その他の流動負債	0	0	0
쉬	田	建物	864, 432	864, 432		固定負債	377, 394	343, 849	▲ 33, 545
貸借対照表	固定	建物減価償却累計額	▲ 186, 717	▲ 210, 057	▲ 23, 340		377, 394	343, 849	▲ 33, 545
表	資	工作物等	10, 854	10, 854	0	退職給与引当金	0	0	0
	産	工作物等減価償却累計額	▲ 5, 818	▲ 6, 545	▲ 727	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	410, 496	377, 394	▲ 33, 102
		建設仮勘定	0	0		正味財産	341, 874	350, 909	9, 035
	<u></u>	その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	341, 874	350, 909	9, 035
	資.	産の部合計	752, 370	728, 303	▲ 24, 067	負債及び正味財産の部合計	752, 370	728, 303	▲ 24, 067
/±±									

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)					
	有形固定資産減価償却率(%)	17	19	22. 0	24. 7						
財	1㎡当たりコスト(円)	34, 709	34, 709	41, 226	39, 564						
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	63	60	61	64. 4						
指	経費に占める収入の割合(%)	4	4. 0		2. 7						
標	利用者1人当たりコスト(円)	715	736	874	1, 460						
1示	開館1日当たりコスト(円)	221, 059	239, 297	256, 095	293, 283						
評											
一価											
指											
標											
等											
寸											
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。										

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) (計画名: ふれあい館整備ニュープランH29年度 H30年度 R元年度 O 無 ● 有 指標名·単位 計画の有無 目標値 目標指標 施設稼働率(%) 実績値 O 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 施設運営の方向性

管理形態の変更の推移 利用者・地域のニーズ ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開

〇 有 (変更内容:

● 現状維持

〇指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる 必要がある。 〇施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 現状・課題

○ その他(

○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが 必要である。

R2年度

〇 廃止

64

66

R3年度(見込み)

課題に対する ◯指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 現時点での考え 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。

議会、利用者等 からの意見

I施設の概要			施設コート	° S04	-03-15	
施設名	西尾久みと	ごりひろば館				
所在地	西尾久四日					
部課名	区民生活部	邻区民施設課				
施設の履歴	時期	建築費	財源内	內容(単位:	千円)	
心故∪/復定	叶树	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源	
建築	昭和53年	<u>:</u>				
増改築①						
増改築②						
併設施設						
竣工年月日	昭和5	3年3月9日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和5	3年6月1日	職員数	0	4	
構造	鉄筋コン	ノクリート造	階層	地上9階建の	うち1階部分	
面積	敷	地面積	■ 都営西尾久4丁目アパート敷地内 r			
山頂	延	床面積	275 m			
設置目的・経緯	地域住民な	が相互交流して	自主的な活動	かを進めるため	めの場及び	
改画日的"柱碑	高齢者福祉	止の増進を図る	ためのレクリ	リエーション	の場の提供	
関連部署						
根拠法令等		民ひろば館条例		IJ		
設置条例		民ひろば館管理				
駐車場の状況	7111	バリアフリー	O エレベー!	ター 0 だ	れでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロ	ック ● ス	ロープ	



Ⅱ管理道	軍営の状況	2									
	里形態	委託	特定非営利活動法.	 人 ワーカーズコー	-プ	期間	平成31年	-	から		
		2					令和4年3	月引日	まで		
	美内容	・地域別演芸大 ・貸室事業	ドレクリエーション事業 会や文化祭等のひろに	ば館利用者相互の交	流を図る	事業					
対	対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)										
電学	運営時間等 運営時間 午前9時~午後5時(貸室事業は午前9時~午後10時)										
廷百	바이타	休日	日曜日、祝日、年末年								
			平成29年度	平成30年度	令和	元年度	令和2年度	令和3年度			
施	事業参加		6, 200			5, 520	2, 462		3, 005		
設	貸室利用		1, 782	2, 095		1, 552	598		437		
基本デ	開館日数	• •	359			360	305		359		
本	委託料人	件費(千円)	6, 344	6, 312		7, 052	6, 534		6, 359		
゠゙゙											
タ											
等											
に指											
用係定											
等る管 費理											
貝垤											
備考			、運営業務委託料のう 染症拡大防止のため、		を受け、	令和2年4月	8日から5月31日ま	で休館し <i>†</i>	o		

皿財	務言	者表						(単	单位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>_</i>		物件費	8, 656	8, 180	▲ 476		0	0	0
行		維持補修費	83	688	605	都支出金	3, 634	3, 664	30
政	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	3	4	1	7 使用料及び手数料	34	16	▲ 18
Î,	費	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 668	3, 680	12
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5, 074	▲ 5, 192	▲ 118
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	8, 742	8, 872		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5, 074	▲ 5, 192	▲ 118
	特別費用(g)		0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 5, 074	▲ 5, 192	▲ 118
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動	収入未済	0	0	0	流 <u>動負債</u>	0	0	0
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	11777—120	0	0	0
岱		有形固定資産	0	0	0		0	0	0
一件		土地	0	0	0	ていたのが対象域	0	0	0
貸借対照表	田	建物	0	0		固定負債	0	0	0
昭	固定	建物減価償却累計額	0	0	0		0	0	0
表	咨	工作物等	0	0	0	~_ 133.11. 3 3	0	0	0
	資産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	しい心の固定民民	0	0	0
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0		正味財産	0	0	0
	-	その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	0	0	0
	貸.	産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0
/ ± ±									

^順 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費(委託料)が大部分を占めている。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)					
	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	-						
財	1㎡当たりコスト(円)	28, 277	31, 073	28, 441	32, 217						
終	人にかかるコストの割合(委託)(%)	75	74	90. 0	73. 6						
務指標	経費に占める収入の割合(%)	41	37	47	41. 5						
煙	利用者1人当たりコスト(円)	976	911	1, 107	2, 899						
175	開館1日当たりコスト(円)	21, 691	23, 836	24, 283	29, 089						
評											
価											
指											
標											
等											
₹											
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね7割程度で推移している。										

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>		<u> </u>		
施設運営の方向性	〇 転用·多目的化 〇 現状維持	O 民営(O その(也(他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ○ 無	平成28年4	月から運営業	終を委託)
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレク	リエーション	/事業の充実				
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対 ○将来的なふれあい館へ 行っていく必要がある ○利用者のニーズに沿っ が必要である。 ○利用者が固定化する傾 ことが課題である。	の移行を見振 。 た館運営によ	居えながら、R にりサービス(利用者の使用の維持向上を	実態に応じた図って利用者	首を確保して	いくこと
課題に対する 現時点での考え	○施設の現状を把握し、	適切な修繕を	そ行い、利用を	者ニーズに対	応していく。		
議会、利用者等 からの意見							

I施	設の概要			施設コート	S04	I-03-16		
	施設名	西尾久ふれる	あい館					
	所在地	西尾久八丁	目33番31号					
	部課名	区民生活部	区民施設課					
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都	千円) 一般財源			
	建築	平成16年	366, 751		区債	132,743,1115		
	増改築①							
	増改築②							
	併設施設							
竣	工年月日	平成16年	F9月21日		区職員	その他		
供用	開始年月日	平成16年	10月12日	職員数	0	17		
	構造	鉄	骨造	階層 地上3階				
	面積	敷地	直積			778 m²		
	山 恒	延床	面積	1, 189. 16 m				
10.18	目的・経緯		高齢者まで幅			活動を促進		
以但	[日刊] 小田小井	することに。	より心豊かな	地域社会の形	が成を図る			
	関連部署							
根	拠法令等		あい館条例・					
	设置条例		あい館管理運					
	車場の状況	2台 /	バリアフリー	● エレベータ	9	れでもトイレ		
駐車	論場の状況	50台	対応状況	▲ 点字ブロッ	ック ● ス	ロープ		





π	答	理	渾	堂	ത	状	沪
ш.	6	-	æ		v	\mathbf{v}	<i>11</i> 6

管理形態	指定管理	株式会社 日本	株式会社 日本デイケアセンター		令和3年4月		から		
日生沙芯	III.CE 42	林 丸五任 日本		期間	令和8年3月	31日	まで		
事業内容	 ・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 								
対象者	一般区民他								
運営時間等	運営時間	午前9時~午後10時							
建	休日	年末年始							
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度((見込み)		
	· -/ - -/ -/ - -/ -/ -/ -/ -/ -/ -/ -/ -/ -/ -/ -/ -/	44 400	10 100	04 070	47 000		04 500		

		11.—	717 1 74				
	,		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加	者数(人)	41, 428		34, 278	17, 980	24, 533
設	貸室利用者数(人)		19, 758	21, 276	20, 643	10, 467	12, 356
設 基	開館日数	(日)	357	357	358	303	357
本	利用者評	価(%) ※	60	39	38	45	-
デ	指定管理	料(千円)	48, 830	47, 893	49, 702	50, 358	60, 810
	指定管理	者の支出合計(千円)	44, 447	42, 799	46, 595	50, 754	51, 957
タ	指定管理	者の人件費(千円)	27, 307	26, 053	28, 828	32, 411	31, 130
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費		2, 502	2, 626	2, 504	2, 781	3, 350
用係定	管理費		12, 974	13, 185	13, 114	13, 266	16, 350
等る管	人件費		27, 307	26, 053	28, 828		31, 130
費理	修繕費		1, 664	935	2, 149	2, 296	1, 127

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財:											
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額		
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0		
<i>,</i> –		物件費	51, 137	50, 968	▲ 169	_年 国庫支出金	0	0	0		
行		維持補修費	0	0	0	都支出金	101	261	160		
政		扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0		
コス		補助費等	0	89	89	ス 使用料及び手数料	676	577	▲ 99		
Ĺ		減価償却費	12, 486	12, 989	503	その他	405	32	▲ 373		
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 182	870	▲ 312		
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 62, 441	▲ 63, 176	▲ 735		
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 765	▲ 637	128		
		行政費用合計(b)	63, 623	64, 046		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 63, 206	▲ 63, 813	▲ 607		
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 63, 206	▲ 63, 813	▲ 607		
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額		
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	8, 657	8, 787	130		
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0		
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	8, 657	8, 787	130		
岱		有形固定資産	333, 241	320, 252	▲ 12, 989	賞与引当金	0	0	0		
月		土地	121, 506	121, 506	0	その他の流動負債	0	0	0		
貸借対照表	田	建物	376, 028	376, 028		固定負債	35, 951	27, 164	▲ 8, 787		
昭	固定	建物減価償却累計額	164 , 293	177 , 282	1 2, 989	特別区債	35, 951	27, 164	▲ 8, 787		
表	咨	工作物等	6, 053	6, 053	0	退職給与引当金	0	0	0		
1	資産	工作物等減価償却累計額	▲ 6, 053	▲ 6, 053	0	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0		負債の部合計	44, 608	35, 951	▲ 8, 657		
		建設仮勘定	0	0		正味財産	288, 633	284, 301	4 , 332		
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	288, 633	284, 301	▲ 4, 332		
	資	産の部合計	333, 241	320, 252	▲ 12, 989	負債及び正味財産の部合計	333, 241	320, 252	1 2, 989		

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	41	44	45	48. 0	
財	1㎡当たりコスト(円)	57, 963	54, 031	53, 502	53, 858	
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	61	61	62	63. 9	
岩	経費に占める収入の割合(%)	1	2	2	1. 4	
指標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 127	1, 013	1, 158	2, 251	
1示	開館1日当たりコスト(円)	193, 073	179, 978	177, 718	211, 373	
評						
一価						
指						
標						
等						
₹						
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は	概ね6割程度で	推移している。			

Ⅳ 施設運営の方向性 (所管の考え方)

11 他設建呂の万円性	(がらりつんり)						
計画の有無	O 無 有	(計画名:	ふれあい館)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値	_		_		_
		実績値	60			64	·
施設運営の方向性	〇 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営 ⁽ O その(他施設との	統合) 廃止)
# T = 1 / 1/ 1/ 1	〇 有 (変更内容:		E ()
管理形態の変更の推移	● 無						′
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 る物品等が不足	と連携し、研 足することの	「修等を通じて)ないよ う 、維	「職員の資質 ^迷 続的に支援	の向上を図する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	での老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等 からの意見							

I施	設の概要			施設コード S04-03-17				
	施設名	東日暮里る	れあい館					
	所在地	東日暮里一	-丁目17番13号					
	部課名	区民生活部	区民施設課					
th	むの屋麻	時期	建築費	財源内	內容(単位:	千円)		
加也	設の履歴	时规	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源		
	建築	昭和47年						
	増改築①							
	増改築②							
1:	并設施設							
竣	工年月日	昭和47	年12月1日		区職員	その他		
供用	開始年月日	平成1	7年4月1日	職員数	10			
	構造	鉄骨鉄筋=	レクリート造	階層 地上14階建のうち1·2階				
	面積	敷:	地面積	都営東日暮里1丁目アパート敷地				
	山 作	延	末面積	1, 176. 87 m				
シ書	目的・経緯	乳幼児から	高齢者まで幅	広い世代の交	を流と自主的 だんしょう かんしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゃ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃりん しゃく	活動を促進		
改旦	一日 ロソ・ 水土 水羊	することに	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る			
1	関連部署							
根	拠法令等	荒川区ふれ	あい館条例・	同施行規則				
Ī	设置条例	荒川区ふれ	あい館管理運	営要綱				
駐車	車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーク	ター だ	れでもトイレ		
駐車	論場の状況	45台	対応状況	● 点字ブロ	ック ● ス	ロープ		





1, 448 11, 289 35, 017

1, 108

2, 412 12, 163

38, 506

2, 054

2, 000 12, 389 37, 900

に指 用係定 等る管 費理

Ⅱ管理運	営の状況									
管理]	形能	指定管理		道灌山学園	期間	平成29年				
—————————————————————————————————————	ルンだ			足准田丁图	利申	令和4年3	月31日 まで			
		・児童育成事業								
事業に	内容		エーション事業 向け、世代間交流事業							
1.201	7.0									
		・貸室事業	なと	<u> </u>						
対象	者	一般区民他								
運営時	- 門生	運営時間	午前9時~午後10時							
建当时	IIII 1)	休日	年末年始							
_			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)			
	事業参加		42, 595		33, 55		10, 647			
設	貸室利用		17, 578							
基	開館日数	(日)	355	353	35	4 298	353			
本 7	利用者評	価(%) ※	47	49	4	7 49	-			
デ 指定管理料(千円)				51, 393 52, 366		7 49, 406				
		皆の支出合計(千F			55, 13					
タ	指定管理	者の人件費(千円	37, 737	37, 166	38, 50	6 35, 017	37, 900			

運営費 管理費 人件費 修繕費

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

2, 943 8, 809 37, 737

1, 091

2, 818 11, 602 37, 166

1, 086

皿財	「財務諸表 (単位:千円)									
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
		給与関係費	0	0	0	- UV UV VI	0	0	0	
<i>,</i> –		物件費	57, 111	55, 226	▲ 1,885	_年 国庫支出金	0	0	0	
行		維持補修費	0	83	83	が 都支出金 政	88	249	161	
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0	
コス		補助費等	0	29	29	† 使用料及び手数料	808	462	▲ 346	
^	費	減価償却費	0	0	0	その他	129	39	▲ 90	
<u>=</u> +	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 025	750	▲ 275	
計算書		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 56, 086	▲ 54, 588	1, 498	
主		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	57, 111	55, 338	▲ 1, 773	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 56, 086	▲ 54, 588	1, 498	
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 56, 086	▲ 54, 588	1, 498	
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
			ハル干皮	NZ 干皮			17九十尺	NZ 干皮	左欿	
	流	収入未済	0	0		流動負債	0	0	左領 ()	
		収入未済 不納欠損引当金	0 0	0 0		流動負債 還付未済金	0		<u>左</u> 領 0	
	流動資産	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債	0 0 0		左 顧 0 0 0 0 0	
岱	動資	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産	0	0 0 0 0 0		流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金	0 0 0		左假 0 0 0 0	
貸供	動資	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債	0 0 0 0	0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対	動資産	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物	0 0 0 0 0 257, 869	0 0 0 0 0 257, 869	0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対昭	動資産	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対照表	動資産 固定	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等	0 0 0 0 0 257, 869	0 0 0 0 0 257, 869	0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対照表	動資産 固定資	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額	0 0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0	0 0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0	0 0 0 0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対照表	動資産 固定	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額	0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0	0 0 0 0 0 257, 869	0 0 0 0 0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対照表	動資産 固定資	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 無形固定資産 建設仮勘定	0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0 0	0 0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計 正味財産	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対照表	動資産 固定資産	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 無形固定資産 建設仮勘定 その他の固定資産	0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0 0 0	0 0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計 正味財産 正味財産	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
貸借対照表	動資産 固定資産	収入未済 不納欠損引当金 その他の流動資産 有形固定資産 土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 無形固定資産 建設仮勘定	0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0 0	0 0 0 0 0 257, 869 ▲ 257, 869 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	流動負債 還付未済金 特別区債 賞与引当金 その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計 正味財産	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	を 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
財	1㎡当たりコスト(円)	47, 874	47, 417	48, 528	47, 021	
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	75	71	70	71. 7	
岩	経費に占める収入の割合(%)	2	4	2	1. 4	
指標	利用者1人当たりコスト(円)	936	1, 039	1, 183	3, 609	
175	開館1日当たりコスト(円)	158, 710	158, 085	161, 331	185, 698	
評						
一品						
指						
標						
等						
77						
備考	 指定管理料に占める人にかかるコストの割合に 	は概ね7割程度で	推移している。			

Ⅳ 施設運営の方向性 (所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	O 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>				<u> </u>
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その(他施設との	統合) 廃止)
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 物品等が不足	- と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う 、維	「職員の資質 迷続的に支援	の向上を図 す
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等 からの意見							

I施	設の概要			施設コート	š S04	-03-18	
	施設名	タやけこや	けふれあい館				
	所在地	東日暮里三	丁目11番19号				
	部課名	区民生活部	『区民施設課				
施	設の履歴	時期 建築費 (単位:千円)		財源内			
	7.争 存在	立は元年		国・都	区債	一般財源	
	建築	平成25年	662, 408				
	増改築①						
	増改築②						
1	并設施設						
竣	工年月日	平成25	年3月12日		区職員	その他	
供用	開始年月日	平成2	5年4月1日	職員数	0	20	
	構造	鉄筋コン	/クリート造	階層	地上4階建の	うち3・4階部分	
	五锤	敷:	地面積	タやロ	ナこやけ保育	園敷地内 ㎡	
	面積	延	床面積	1, 570. 00 n			
=л.==		乳幼児から	高齢者まで幅	広い世代の交	流と自主的流	舌動を促進	
	目的・経緯	することに	より心豊かな	地域社会の形	/成を図る		
Į.	関連部署						
根	拠法令等	荒川区ふれ	しあい館条例・	同施行規則			
-	设置条例		あい館管理運				
	車場の状況		バリアフリー	● エレベーク	9—	れでもトイレ	
駐車	論場の状況	43台	対応状況	● 点字ブロ:	ック ● スロ	コープ	





	Ⅱ管理選	重営の状況	Į.					
I	告田	 里形態	指定管理	社会福祉法	.人 教信精舎	期間	平成30年	
l	官坦	EII/思	拍化官垤	1	(人) 教信相告	州间	令和5年3	月31日 まで
		内容		[エーション事業 向け、世代間交流事業 なと	•			
I	対	象者	一般区民他					
ſ	海台	時間等	運営時間	午前9時~午後10時				
l	建古	可旧可	休日	年末年始				
I				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
ı		事業参加	者数(人)	53, 878	53, 211	44, 250	15, 544	
ı	設	貸室利用	者数(人)	55, 612	53, 007	39, 404	20, 751	
ı	設基	開館日数	(日)	356	357	357	302	357
ı	本	利用者評	価(%) ※	47	50	43	58	-
ı	デ	指定管理	籾(土田)	47 639	54 410	54 940	55 4 58	59 638

		平成29年度	平成30年度	令 和 元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加者数(人)	53, 878	53, 211	44, 250	15, 544	23, 516
設	貸室利用者数(人)	55, 612	53, 007	39, 404	20, 751	26, 088
設 基	開館日数(日)	356	357	357	302	357
本	利用者評価(%) ※	47	50	43	58	-
デ	指定管理料(千円)	47, 639	54, 410		55, 458	
	指定管理者の支出合計(千円)	46, 563		50, 542	49, 852	
タ	指定管理者の人件費(千円)	34, 675	38, 258	38, 268	37, 813	39, 179
等						
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
に指	運営費	3, 609	3, 712	2, 788		4, 287
用係定	管理費	7, 876	8, 440	8, 518		
等る管	人件費	34, 675				
費理	修繕費	403	722	968	2, 229	1, 879

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	務言	 者表						(単	鱼位:千円)
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
<i>i</i> –		物件費	59, 468	61, 095	1, 627	∠ 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	8, 962	8, 962	都支出金	88	278	190
政			0	0	0		0	0	0
コス			0	29	29	† 使用料及び手数料	1, 286	802	▲ 484
_	費	減価償却費	16, 122	16, 122	0	その他	3, 130	3, 304	174
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4, 504	4, 384	▲ 120
算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 71, 086	▲ 81, 824	1 0, 738
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3, 550	▲ 3, 280	270
		行政費用合計(b)	75, 590	86, 208		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 74, 636	▲ 85, 104	▲ 10, 468
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 74, 636	▲ 85, 104	▲ 10, 468
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	29, 489	29, 762	273
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	29, 489	29, 762	273
岱		有形固定資産	484, 247	468, 126	▲ 16, 121	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
성	æ	建物	597, 099	597, 099		固定負債	292, 044	262, 282	▲ 29, 762
昭	固定	建物減価償却累計額	1 12, 852	128 , 973	▲ 16, 121	特別区債	292, 044	262, 282	▲ 29, 762
表	資	工作物等	0	0	0		0	0	0
20	産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	1/1	無形固定資産	0	0		負債の部合計	321, 533	292, 044	2 9, 489
		建設仮勘定	0	0		正味財産	162, 714	176, 082	13, 368
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	162, 714	176, 082	13, 368
	資	産の部合計	484, 247	468, 126	▲ 16, 121	負債及び正味財産の部合計	484, 247	468, 126	▲ 16, 121
借									

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	有形固定資産減価償却率(%)	14	16	19	21. 6	
財	1㎡当たりコスト(円)	39, 612	45, 276			
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	75	75	76	75. 9	
岩	経費に占める収入の割合(%)	3	3	6. 0		
指標	利用者1人当たりコスト(円)	602	710	904	2, 375	
1示	開館1日当たりコスト(円)	184, 725	211, 143	211, 737	285, 457	
評						
一価						
指						
標						
等						
चं						
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は	概ね7割程度で	推移している。			

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性							
計画の有無	○無●有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値			— 54		<u> </u>
施設運営の方向性	○ 転用·多目的化 ● 現状維持	O 民営(O その(他施設との	統合) 廃止)
管理形態の変更の推移	O 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的	背景の変化に	に応じた事業原	展開			
現状・課題	○指定管理者による設備 必要がある。 ○施設の安全や衛生を担 ると共に、施設の維持 ○利用者のニーズに沿っ 必要である。	保するため、 管理に要する	指定管理者。 物品等が不足	- と連携し、研 足することの	修等を通じて ないよ う 、組	「職員の資質 ^迷 続的に支援	の向上を図 する。
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・ 計画的な事業見直し及			ーズ及び施設	の老朽化等の)現状把握に	努め、
議会、利用者等からの意見							

I施	設の概要			施設コート	° S04	I - 03-19	
	施設名	日暮里ひろり	ば館				
	所在地	西日暮里二	丁目10番9号				
	部課名	区民生活部	区民施設課				
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都]容(単位:· 区債	千円) 一般財源	
	建築	昭和38年					
	増改築①						
	増改築②						
	併設施設						
竣	建工年月日	昭和38年	12月18日		区職員	その他	
供用	開始年月日	昭和39年	F1月13日	職員数	7	0	
	構造	鉄筋コン	クリート造	階層 地上3階			
	面積	敷地	直積	624			
	四個		面積	756. 00			
設置	目的・経緯	地域住民が 場の提供	相互に交流を	深め、自主的	」な活動を進	めるための	
F	関連部署	22 27 1					
	拠法令等	荒川区区民	ひろば館条例	・同施行規則	J		
	设置条例	荒川区区民	ひろば館管理	運営要綱			
駐車	車場の状況	1台 /	バリアフリー	O エレベーク	マー 〇だ	れでもトイレ	
駐車	輪場の状況	20台	対応状況	○ 点字ブロッ	ック ● ス	ロープ	





Ⅱ管理運営の状況 からまで 期間 管理形態 直営 事業内容 貸室事業

一般区民他 対象者 運営時間 午前9時~午後10時

運営時間等

~	- 3 (-3 1)	休日	年3	末年始							
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見達			
施	貸室利用			64, 480	64, 765	60, 256	16, 701	13	3, 340		
設	開館日数	官日数(日)		日数(日)		357	357	358	303		357
基											
施設基本デ											
デ											
l l											
タ											
等											
に指											
用係定											
等る管 費理											
д- <u>т</u>								<u> </u>			
備	_ +- #.i			-14 1 74 1 - 1 - 1			0-1				

〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	財務諸表 (単位:千円)										
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額		
		給与関係費	14, 249	17, 039	2, 790	地方税等	0	0	0		
<i></i>		物件費	6, 734	2, 847	▲ 3,887	_年 国庫支出金	0	0	0		
行		維持補修費	5, 346	0	▲ 5, 346	都支出金	0	0	0		
政「		扶助費	0	0	0		0	0	0		
コス		補助費等	3	125	122	ス 使用料及び手数料	572	730	158		
l î	費	減価償却費	826	826	0	その他	350	20	▲ 330		
計	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	922	750	▲ 172		
算		賞与・退職給与引当金繰入額	1, 615	6, 013		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 27, 851	▲ 26, 100	1, 751		
書		その他行政費用	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0		
		行政費用合計(b)	28, 773	26, 850		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 27, 851	▲ 26, 100	1, 751		
		別費用(g)	0	0		特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 27, 851	▲ 26, 100	1, 751		
	勘定科目		R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額		
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	692	867	175		
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0		
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0		
1 4		有形固定資産	53, 170	EU 0/101							
			,	52, 343	▲ 827	賞与引当金	692	867	1/5		
月供		土地	32, 096	32, 096	0	その他の流動負債	0	0	0		
借付	田	土地建物	32, 096 50, 614	32, 096 50, 614	0	その他の流動負債 固定負債	0 4, 967	867 0 10, 029	175 0 5, 062		
借対昭	固定	土地 建物 建物減価償却累計額	32, 096 50, 614 △ 29, 733	32, 096 50, 614 △ 30, 542	0	その他の流動負債 固定負債 特別区債	0 4, 967 0	0 10, 029 0	5, 062 0		
頁借 対照表	固定資	土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等	32, 096 50, 614 ▲ 29, 733 264	32, 096 50, 614 1 30, 542 264	0 0 a 809	その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金	0 4, 967	0	0		
貸借対照表	固定資産	土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額	32, 096 50, 614 A 29, 733 264 A 71	32, 096 50, 614 △ 30, 542 264 △ 88	0 0 ▲ 809 0 ▲ 17	その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債	0 4, 967 0 4, 967	0 10, 029 0 10, 029 0	0 5, 062 0 5, 062 0		
具借対照表	固定資産	土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 無形固定資産	32, 096 50, 614 2 9, 733 264 1 0	32, 096 50, 614 1 30, 542 264 1 88	0 0 ▲ 809 0 ▲ 17	その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計	0 4, 967 0 4, 967 0 5, 659	0 10, 029 0 10, 029 0 10, 896	0 5, 062 0 5, 062 0 5, 237		
見借対照表	固定資産	土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 無形固定資産 建設仮勘定	32, 096 50, 614 A 29, 733 264 A 71	32, 096 50, 614 △ 30, 542 264 △ 88	0 0 ▲ 809 0 ▲ 17 0	その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計 正味財産	0 4, 967 0 4, 967 0 5, 659 47, 511	0 10, 029 0 10, 029 0 10, 896 41, 447	0 5, 062 0 5, 062 0 5, 237 ▲ 6, 064		
員借対照表	資産	土地 建物 建物減価償却累計額 工作物等 工作物等減価償却累計額 無形固定資産	32, 096 50, 614 2 9, 733 264 1 0	32, 096 50, 614 1 30, 542 264 1 88	0 0 809 0 ▲ 17 0 0	その他の流動負債 固定負債 特別区債 退職給与引当金 その他の固定負債 負債の部合計	0 4, 967 0 4, 967 0 5, 659	0 10, 029 0 10, 029 0 10, 896	0 5, 062 0 5, 062 0		

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち給与関係費・物件費が大部分を占めている。

指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	55			60. 2	
	57			85. 9	
	9			2. 8	
開館1日当たりコスト(円)	79, 151	63, 317	80, 372	88, 614	
	有形固定資産減価償却率(%) 1㎡当たりコスト(円) 人にかかるコストの割合(%)	有形固定資産減価償却率(%)551㎡当たりコスト(円)37,377人にかかるコストの割合(%)57経費に占める収入の割合(%)9利用者1人当たりコスト(円)438	有形固定資産減価償却率(%)5557.01㎡当たりコスト(円)37,37729,899人にかかるコストの割合(%)5765経費に占める収入の割合(%)910利用者1人当たりコスト(円)438349	有形固定資産減価償却率(%)5557.0591㎡当たりコスト(円)37,37729,89938,060人にかかるコストの割合(%)576555経費に占める収入の割合(%)9103利用者1人当たりコスト(円)438349478	有形固定資産減価償却率(%)5557.05960.21㎡当たりコスト(円)37,37729,89938,06035,516人にかかるコストの割合(%)57655585.9経費に占める収入の割合(%)91032.8利用者1人当たりコスト(円)4383494781,608

情 行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね6割程度で推移している。R2年度はR元年度に比べ維持補修費の減 考 により行政費用の総額が減少したため、人にかかるコストの割合が相対的に上昇した。

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

IV 施設運営の万同性	(所官の考え方)						
計画の有無	○無●有	(計画名:	ふれあい館整備ニ				え・更新計画)
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値	<u> </u>				
施設運営の方向性	〇 転用·多目的化 〇 現状維持	O 民営 ⁽ O その(他施設との	統合	廃止)
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ● 無)
利用者・地域のニーズ	サークル等の自主的な活	動ができる場	易の提供				
現状・課題	○施設・設備の老朽化にネ ○将来的なふれあい館へ 行っていく必要がある ○貸室専門のひろば館で	の移行を見期 。	居えながら、	利用者の使用	実態に応じた		管理を
課題に対する 現時点での考え	○施設の現状を把握し、	適切な修繕を	そ行い、利用者	者ニーズに対	応していく。		
議会、利用者等からの意見							

I施	設の概要			施設コート	S04	-03-20		
	施設名	諏訪台ひろに	ば館					
	所在地	西日暮里三百	Γ目3番12号					
	部課名	区民生活部区	区民施設課					
施	設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内 国・都]容(単位:· 区債	千円) 一般財源		
	建築	昭和50年						
	増改築①							
	増改築②							
1	併設施設							
竣	工年月日	昭和50年	¥4月1日		区職員	その他		
供用	開始年月日	昭和50年	₹4月9日	職員数	0	4		
	構造	鉄帽	骨造	階層	地上	-2階		
	面積	敷地	面積			397 m ²		
	凹傾		面積			302 m²		
記署	目的・経緯			自主的な活動				
以但	「口口」、小子小井	高齢者福祉の	0増進を図る	ためのレクリ	エーション	の場の提供		
	関連部署							
根	拠法令等			・同施行規則	J			
Ī	設置条例	荒川区区民で	Jろば館管理	運営要綱				
駐車	車場の状況	1台 バ	リアフリー	O エレベーク		れでもトイレ		
馬主	論場の状況	15台	対応状況	○ 点字ブロッ	ック ● スロ	コープ		



Ⅱ管理道	軍営の状況	?									
管 理	E形態	委託		諏訪台ひろ	 ば館運営委員会		期間	令和3年4		から	
							2411-1	令和4年3	月31日	まで	
	学内容	・地域別演芸大 ・健康器具(高 ・貸室事業	会や	電界保健装置等) <i>0</i>	ば館利用者相互の交)設置	流を図	る事業				
対象者 満60歳以上の者(貸室事業は一般区民他)											
温学	時間等	運営時間	午前		資室事業は午前9時~						
(注白)	비기타	休日	日即	<u>曜日、祝日、年末年</u>							
				平成29年度	平成30年度	令	·和元年度	令和2年度	令和3年度		
施	事業参加	者数(人)		11, 684	13, 389		11, 936	4, 585		6, 342	
設	貸室利用			3, 741	2, 724		3, 019	1, 386		3, 284	
設 基	開館日数	(日)		359	359		360	305		359	
本 デ	委託料人	件費(千円)		5, 377	5, 377		5, 482	5, 553		6, 541	
デ											
I											
タ											
等											
に指											
用係定											
等 る 管 費 理											
貝垤	#										
備考				፱営業務委託料のう セ拡大防止のため、	ち人件費相当額。 国の緊急事態宣言で	を受け	、令和2年4月8	8日から5月31日ま	で休館した	: o	

皿財	財務諸表 (単位:千円)									
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
		給与関係費	0	0	0	- 0 / 3 / 1/0 - 1/	0	0	0	
<i></i> _		物件費	7, 792	6, 952	▲ 840	∠ 国庫支出金	0	0	0	
行		維持補修費	1, 124	237	▲ 887	都支出金	3, 323	3, 362	39	
政	行	扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0	
コス	政	補助費等	8	24	16	7 使用料及び手数料	131	72	▲ 59	
^	費	減価償却費	0	57	57	その他	88	26	▲ 62	
	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3, 542	3, 460	▲ 82	
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 19, 670	▲ 3,810	15, 860	
書		その他行政費用	14, 288	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	23, 212	7, 270	▲ 15, 942	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 19, 670	▲ 3,810	15, 860	
	特	別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 19, 670	▲ 3,810	15, 860	
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流動	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
貸		有形固定資産	80, 839	80, 782	▲ 57	賞与引当金	0	0	0	
月世		土地	78, 000	78, 000	0	C ** L ** / N L > 3 > C > C	0	0	0	
借対	固	建物	55, 345	55, 345	0	固定負債	0	0	0	
昭	定	建物減価償却累計額	▲ 55, 345	▲ 55, 345	0	特別区債	0	0	0	
照表	資	工作物等	2, 839	2, 839	0		0	0	0	
20	産	工作物等減価償却累計額	0	▲ 57	▲ 57	その他の固定負債	0	0	0	
	<u> </u>	無形固定資産	0	0		負債の部合計	0	0	0	
		建設仮勘定	0	0		正味財産	80, 839	80, 782	▲ 57	
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	80, 839	80, 782	▲ 57	
	資	産の部合計	80, 839	80, 782	▲ 57	負債及び正味財産の部合計	80, 839	80, 782	▲ 57	

備 大部分を占めている。 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費(委託料)が大部分を占めている。

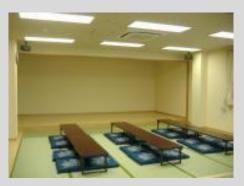
	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)			
	有形固定資産減価償却率(%)	100. 0	100.0	95	95. 2				
財	1㎡当たりコスト(円)	34, 245	28, 984	74, 814					
終	人にかかるコストの割合(委託)(%)	52. 0	62	24	76. 4				
務指標	経費に占める収入の割合(%)	45	39	16	47. 6				
煙	利用者1人当たりコスト(円)	670	543	1, 509	1, 218				
175	開館1日当たりコスト(円)	28, 777	24, 357	62, 694	23, 836				
評									
一品									
指									
標									
等									
च									
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、通常は概ね6~7割程度で推移している。								

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設運営の方向性										
計画の有無	○ 無 ● 有	(計画名:	ふれあい館	整備ニュース	プラン)			
	指標名・単位		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)			
目標指標	施設稼働率(%)	目標値 実績値		<u> </u>	<u> </u>	69	- <u> </u>			
施設運営の方向性	● 転用·多目的化 ○ 現状維持	O 民営(O その(也(他施設との		70.11)			
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: · 〇 無	平成10年4月	目から町会等	で構成され	る運営委員会	会へ委託)			
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレク!	ノエーショ ン	・事業の充実							
現状・課題	○将来的なふれあい館への 行っていく必要がある。○利用者のニーズに沿った が必要である。	〇利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていく								
課題に対する 現時点での考え	○施設の現状を把握し、過	適切な修繕を	そ行い、利用を	者ニーズに対	応していく。					
議会、利用者等からの意見										

I施	設の概要			施設コート	S04-03-21				
	施設名	西日暮里ふれ	1あい館						
	所在地	西日暮里六	「目24番4号						
	部課名	区民生活部	区民施設課						
松	設の履歴	時期	建築費	財源内容(単位:千円)					
IJŪ	一一 一	时初	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
	建築	平成20年	407, 967						
	増改築①								
	増改築②								
1	并設施設								
竣	工年月日	平成20年	¥2月1日		区職員	その他			
供用	開始年月日	平成20年	¥4月1日	職員数	0	10			
	構造	鉄帽	骨造	階層 地上3階					
	面積	敷地	.面積	776. 20 m					
	凹傾		面積	1, 261. 63 m					
10.15	目的・経緯			広い世代の交		舌動を促進			
以但	「口口」 小王小年	することに。	より心豊かな:	地域社会の形	成を図る				
	関連部署								
根	!拠法令等	荒川区ふれる	あい館条例・	同施行規則					
_	设置条例		あい館管理運						
駐車	車場の状況		リアフリー	● エレベータ	z— ● だぇ	れでもトイレ			
駐車	論場の状況	49台	対応状況	▲ 点字ブロッ	<i>」</i> ク	コープ			





34, 381 1, 101

π	答	理	渾	堂	ത	状	沪
ш.	6	-	æ		v	\mathbf{v}	<i>11</i> 6

運営費管理費人件費修繕費

に指 用係定 等る管 費理

□官埋』	里呂の状次	C					
管理	里形態	指定管理	学校法人	道灌山学園	期間	令和2年4 令和7年3	
事業	学内容		 エーション事業 向け、世代間交流事業 なと	• •		p in it	7.0.12
対	象者	一般区民他					
(電台)	時間等	運営時間	午前9時~午後10時				
廷古	时间 寸	休日	年末年始				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	事業参加		34, 857	39, 449	34, 927	14, 534	
設	貸室利用		25, 740		27, 646	14, 557	
設 基 本	開館日数	(日)	354	355	356	300	354
本	利用者評		43	52	48	42	-
デ	指定管理	料(千円)	51, 131	52, 607	53, 060	50, 756	
	指定管理	者の支出合計(千)	円) 49,981	52, 011	53, 278	48, 090	57, 347
タ	タ 指定管理者の人件費(千円)		円) 37, 845	37, 060	38, 503	34, 381	39, 170
等							
	※ふれあい館利用者アンケートの	D施設総合評価において、最も高い評価を選択した人のi	制合				
に指	運営費		3, 015		2, 123	1, 209	
用係定	管理費		8, 327	11, 368	11, 710	11, 399	13, 631
等る管費理	人件費		37, 845		38, 503	34, 381	39, 170
	ルグ4 華						

備考

〇令和3年度欄の金額は協定額である。 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月8日から5月31日まで休館した。

皿財	才務諸表 (単位:千円)								
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
		給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	54, 928	58, 255	3, 327	_年 国庫支出金	0	0	0
行		維持補修費	0	0	0	都支出金 政 公司公司 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	101	270	169
政	行	扶助費	0	0	0	以分担金及び負担金	0	0	0
コス	政	補助費等	0	58	58	^収 使用料及び手数料	1, 256	800	▲ 456
^	費	減価償却費	14, 621	14, 621	0	へその他	231	336	105
=+	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1, 588	1, 406	▲ 182
計算		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 67, 961	▲ 71, 528	▲ 3, 567
書		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 923	▲ 812	111
		行政費用合計(b)	69, 549	72, 934	3, 385	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 68, 884	▲ 72, 340	▲ 3, 456
		別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特	別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 68, 884	▲ 72, 340	▲ 3, 456
		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流	収入未済	0	0	0	流動負債	5, 961	6, 075	114
	動資	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	産	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	5, 961	6, 075	114
岱		有形固定資産	386, 073	371, 452	▲ 14, 621	賞与引当金	0	0	0
貸借対照表		土地	125, 375	125, 375	0	その他の流動負債	0	0	0
 	æ	建物	415, 484	415, 484		固定負債	38, 235	32, 160	▲ 6, 075
昭	固定	建物減価償却累計額	157 , 190	170 , 989	▲ 13, 799		38, 235	32, 160	▲ 6, 075
表	資	工作物等	12, 265	12, 265	0		0	0	0
1	産	工作物等減価償却累計額	▲ 9, 861	1 0, 683	▲ 822	その他の固定負債	0	0	0
	1/1	無形固定資産	0	0		負債の部合計	44, 196	38, 235	▲ 5, 961
		建設仮勘定	0	0		正味財産	341, 877	333, 217	▲ 8, 660
		その他の固定資産	0	0		正味財産の部合計	341, 877	333, 217	▲ 8, 660
	資.	産の部合計	386, 073	371, 452	▲ 14, 621	負債及び正味財産の部合計	386, 073	371, 452	▲ 14, 621
/供									

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)			
	有形固定資産減価償却率(%)	32	36	39	42. 5				
財	1㎡当たりコスト(円)	56, 195	53, 891	55, 126	57, 809				
務	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	76	71	72	71. 5				
岩	経費に占める収入の割合(%)	5	4	2	1. 9				
指標	利用者1人当たりコスト(円)	1, 170		1, 111	2, 507				
175	開館1日当たりコスト(円)	199, 149	191, 524	195, 362	243, 113				
評									
一価									
指									
標									
等									
-1									
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。								

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

Ⅳ 施設連宮の万冋性										
計画の有無	┃ 〇 無									
目標指標	指標名・単位 H29年度 H30年度 R元年度 R2年度 R3年度(見込み) 施設稼働率(%) 目標値 - - - - - 実績値 63 61 52 53 -									
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()									
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無 (変更内容:									
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開									
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。									
課題に対する 現時点での考え	〇指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、 計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。									
議会、利用者等 からの意見										

I施	設の概要			施設コート	š S04	-03-22			
	施設名	グリーンパ	ール那須						
	所在地	栃木県那須	郡那須町湯本	: 213					
	部課名	区民生活部	区民施設課						
th	設の履歴	時期	建築費	財源内容(単位:千円)					
ЛŒ	し ひん は な な な な な な な な な	时刊	(単位:千円)	国・都	区債	一般財源			
	建築	昭和57年			1				
	増改築①	平成14年							
	増改築②								
1	并設施設								
竣	工年月日	昭和57年	=12月20日		区職員	その他			
供用	開始年月日	昭和37:	年8月1日	職員数	0	0			
	構造	鉄筋コン	クリート造	階層 地上2階・地下1階					
	面積	敷地	也面積	16, 260. 77					
	山惧	延床	面 積	4, 030. 13 n					
設置	目的・経緯	区民の健康	増進と福祉の	向上に寄与す					
	明'古立7 罢	光证兴羽 钿							
	関連部署	生涯学習課							
	根拠法令等								
	設置条例	2045 .	ў П Э Э П	0 エレベーク	7 • +:-	h ボナレノL			
	車場の状況		バリアフリー			れでもトイレ 			
馬土 隼	輪場の状況	0台	対応状況	点字ブロッ)/ (コープ			





Ⅱ管理運営の状況

 管理形態
 その他
 日本ビューホテル事業株式会社(無償貸付)
 期間
 平成29年4月1日
 から 令和4年3月31日

事業内容 区民利用・一般利用の予約手続き、宿泊サービスの提供、施設維持等

対象者 区内在住・在勤者とその家族(三親等以内)

運営時間等 運営時間 チェックイン14時より、チェックアウト10時まで

雷兴	時間等	连舌时间	/ エンノコン 14吋の	トン、 / エンノ/ //	, 10hd 9 C		
) 建舌	付旧寺	休日	年中無休(休館日る				
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
施	利用総人数(人)		16, 0				
	区民利用	人数(人)	6, 1	60 6, 623	6, 675	3, 103	-
基							
設基本デ	客室稼働			85 83	75	71	-
デ	区民優先	室利用率(%)		53 4	7 48	29	-
タ							
等							
に指							
用係定							
等る管 費理							
只在							
,							

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の緊急事態宣言を受け、令和2年4月26日から6月30日まで休館した。

皿財	Ⅲ財務諸表 (単位:千円)											
行政コスト計算書		勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額			
	行政	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0			
		物件費	7, 173	106	▲ 7, 067	∠ 国庫支出金	0	0	0			
		維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0			
		扶助費	0	0	0	以 分担金及び負担金	0	0	0			
			39, 148	25, 920	▲ 13, 228	使用料及び手数料	114	114	0			
	費		39, 635	7, 816	▲ 31, 819	その他	0	0	0			
	用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	114	114	0			
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 85, 842	▲ 33, 728	52, 114			
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0			
		行政費用合計(b)	85, 956	33, 842	▲ 52, 114	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 85, 842	▲ 33, 728	52, 114			
	特別費用(g)		0	0		特別収入(f)	0	0	0			
	特	特別収支差額(f)-(g)=(h) 0 0		0	0 当期収支差額(e)+(h		▲ 85, 842	▲ 33, 728	52, 114			
	勘定科目R元年度		R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額				
	流動資産		0	0	0	流動負債	0	0	0			
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0			
			0	0	0	特別区債	0	0	0			
貸		有形固定資産	157, 299	149, 483	▲ 7,816		0	0	0			
月世		土地	24, 876	24, 876	0	その他の流動負債	0	0	0			
借対照表	固定資産	建物	1, 360, 874	1, 360, 874		固定負債	0	0	0			
		, 连彻减温良型来可做	▲ 1, 230, 345		▲ 7, 658		0	0	0			
		工作物寺	77, 888	77, 888	0	退職給与引当金	0	0	0			
		工作物寺減価負却系計額	▲ 75, 993	▲ 76, 152	▲ 159	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0	0	0			
		無形固定貧産	0	0		負債の部合計	0	0	0			
		建設仮勘定	0	0		正味財産	159, 899	152, 083	▲ 7,816			
		その他の固定資産	2, 600	2, 600		正味財産の部合計	159, 899	152, 083	▲ 7,816			
	資.	産の部合計	159, 899	152, 083	▲ 7,816	負債及び正味財産の部合計	159, 899	152, 083	▲ 7,816			
/												

区民の施設利用に必要な経費のため、行政費用のうち補助費等が大部分を占めている。

	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)		
財務指標	有形固定資産減価償却率(%)	85	88	91	91. 3			
	1㎡当たりコスト(円)	18, 331	21, 391	21, 328	8, 397			
	受益者負担比率(%)	0	0	0	0. 3			
	経費に占める収入の割合(%)	1	1	0	0. 3			
	開館1日当たりコスト(円)	225, 238	241, 485		94, 796			
1示	利用者1人当たりコスト(円)	4, 596	5, 029	5, 652	3, 016			
評								
一価								
指								
1世								
標等								
寸								
備考	利用者1人当たりのコストは、通常は概ね4,000円から5,000円で推移している。							

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方) ● 無 ○ 有 指標名・単位 (計画名:) R3年度(見込み) 計画の有無 H29年度 H30年度 R2年度 R元年度 目標値 目標指標 100 100 100 100 100 客室稼働率(%) 実績値 85 83 75 71 転用·多目的化 〇 民営化 〇 他施設との統合 廃止 施設運営の方向性 現状維持 ○ その他((変更内容: 〇有 管理形態の変更の推移 利用者・地域のニーズ ○客室の稼働率が80%を超える年もあり利用者からの評価が極めて高い施設であるが、同じお客様 が1年間に何度も利用しているというデータがあるため、新規顧客の獲得に向けて積極的なPRが 現状・課題 必要である。また、利用者は比較的高齢者が多いため、新たに若い世代に向けた保養所の周知も 検討していく必要がある。 ○区報・区営掲示板・HP等の媒体のみならず、TwitterやFacebookといった新たな媒体を活用し、 課題に対する 現時点での考え 幅広い世代へ保養所の案内やホテル実施のツアー・各種フェアの宣伝を実施していく。 議会、利用者等 からの意見